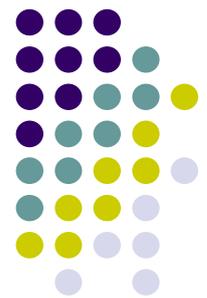




「社会福祉士が変わる」  
集計結果報告書



2008年6月  
朝日新聞東京本社広告局

# 1. 調査概要



- 対象紙面 2008年5月26日(月)付 全12段
- 地域 全国
- 集計対象者 上記広告に応募した男女個人
- 応募者数 941人(ハガキ 602人、FAX 88人、Web 251人)
- 集計対象者数 906人(ハガキ 589人、FAX 85人、Web 232人)

応募者数941人より、同一回答者による複数応募を除いた。

## 2. 回答者の属性



### 性別

男性(40.0%)が4割、女性(58.8%)が約6割で、女性の方がやや多い。



### 年齢

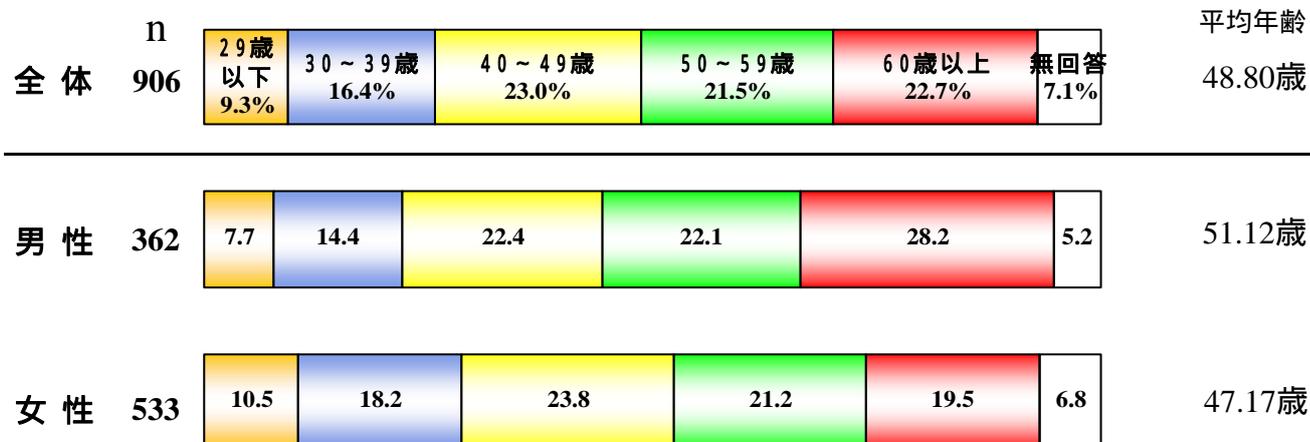
「40～49歳」(23.0%)が最も多く、「60歳以上」(22.7%)と「50～59歳」(21.5%)がほぼ同率で続く。平均年齢は48.8歳である。

【性別】

男性は「60歳以上」(28.2%)が3割近くで最も多い。

女性は「40～49歳」(23.8%)が最も多く、「50～59歳」(21.2%)も2割以上で続く。

平均年齢は男性が51.1歳、女性が47.2歳である。





## 居住地 - 全体、性別、年代別 -

「東京都」「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」「その他関東」を合わせた「関東」が4割を占める。  
 「大阪府」「兵庫県」「その他近畿」を合わせた「近畿」は約2割である。

【性別】「北海道・東北」は男性でやや多い。

【年齢別】「関東」は若いほど多い。「中部」は60歳以上でやや多い。



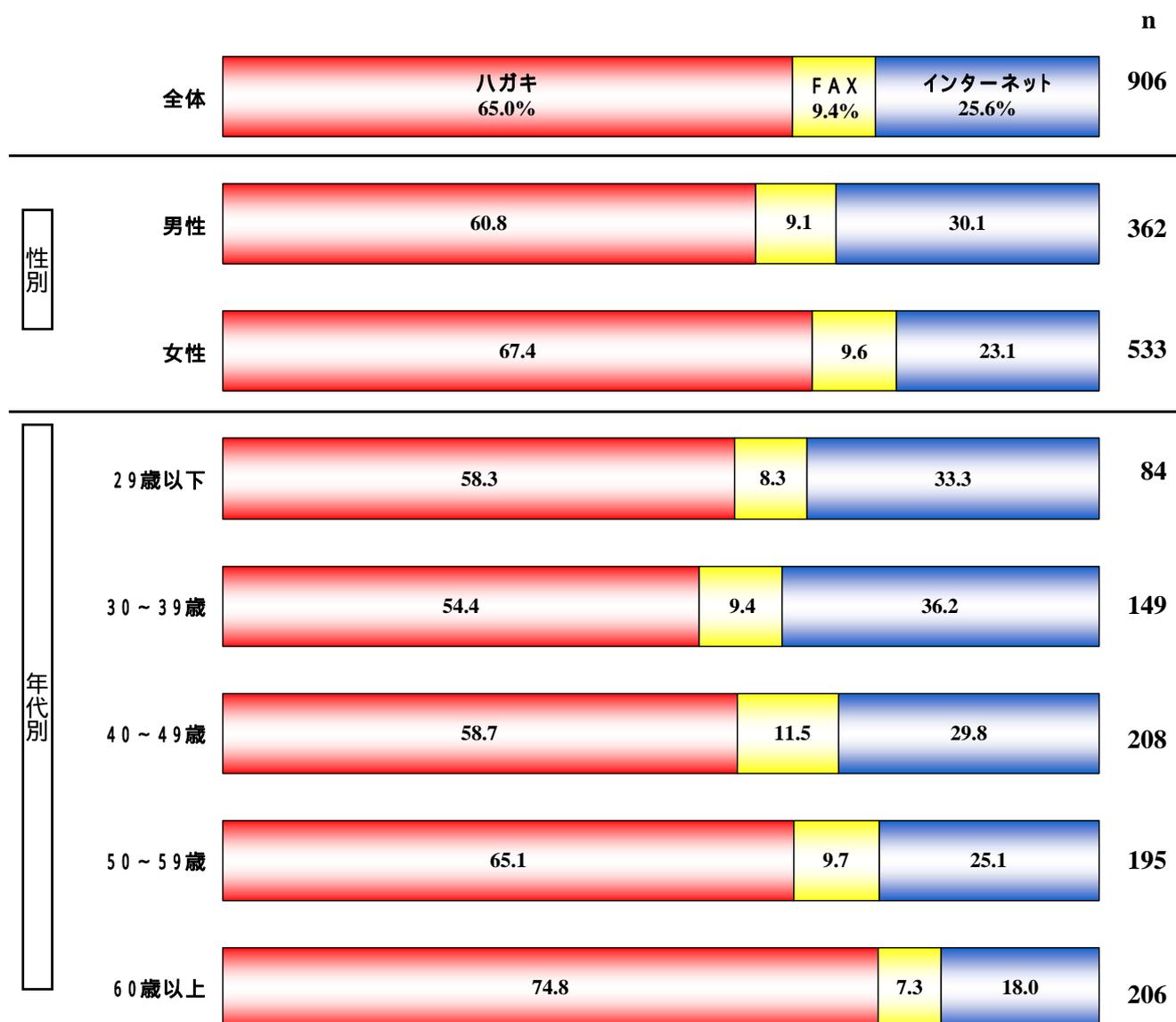


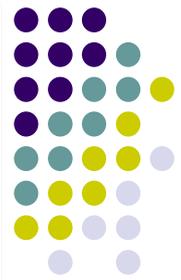
## 応募方法 - 全体、性別、年代別 -

「ハガキ」(65.0%)が6割以上を占める。「インターネット」(25.6%)は2割以上、「FAX」(9.4%)は1割未満である。

【性別】男女とも「ハガキ」が6割以上である。「ハガキ」は女性にやや多く、「インターネット」は男性にやや多い。

【年代別】「ハガキ」は30代で最も少なく、年代が上がるほど増える。「インターネット」は30代で最も多く、年代が上がるほど少なくなる。





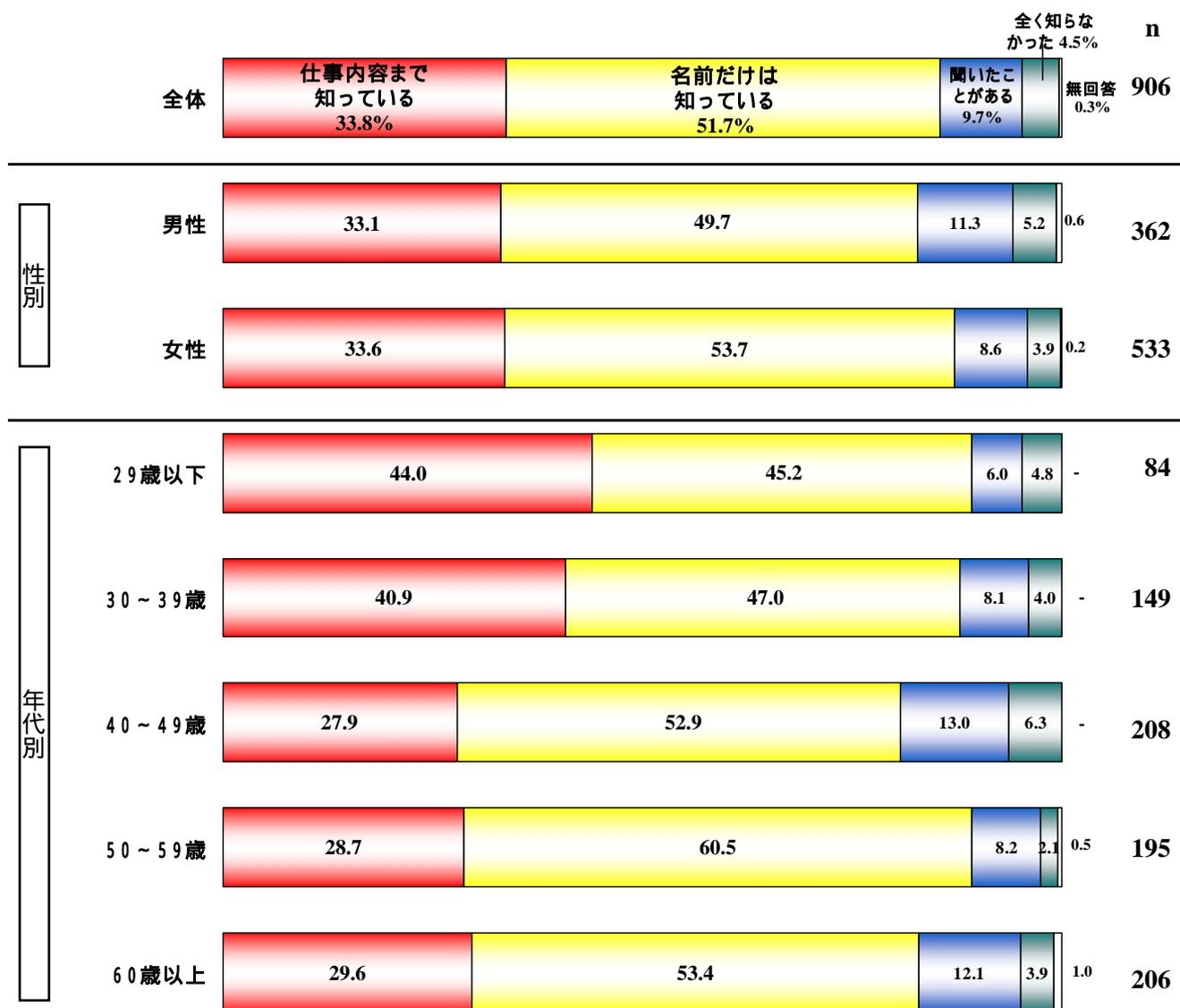
# 3. アンケートの回答

## Q1 社会福祉士 認知度 - 全体、性別、年代別 -

社会福祉士について知っていたかを聞いたところ、「名前だけは知っている」が5割で最も多い。次いで「仕事内容まで知っている」(33.8%)が3割以上で多い。「聞いたことがある」(9.7%)は1割、「全く知らなかった」(4.5%)は1割未満である。

【性別】男女であまり差はない。

【年代別】「仕事内容まで知っている」は30代以下で4割以上と多い。40代以上は「名前だけは知っている」が半数以上を占める。





## Q 2 社会福祉士についての理解度

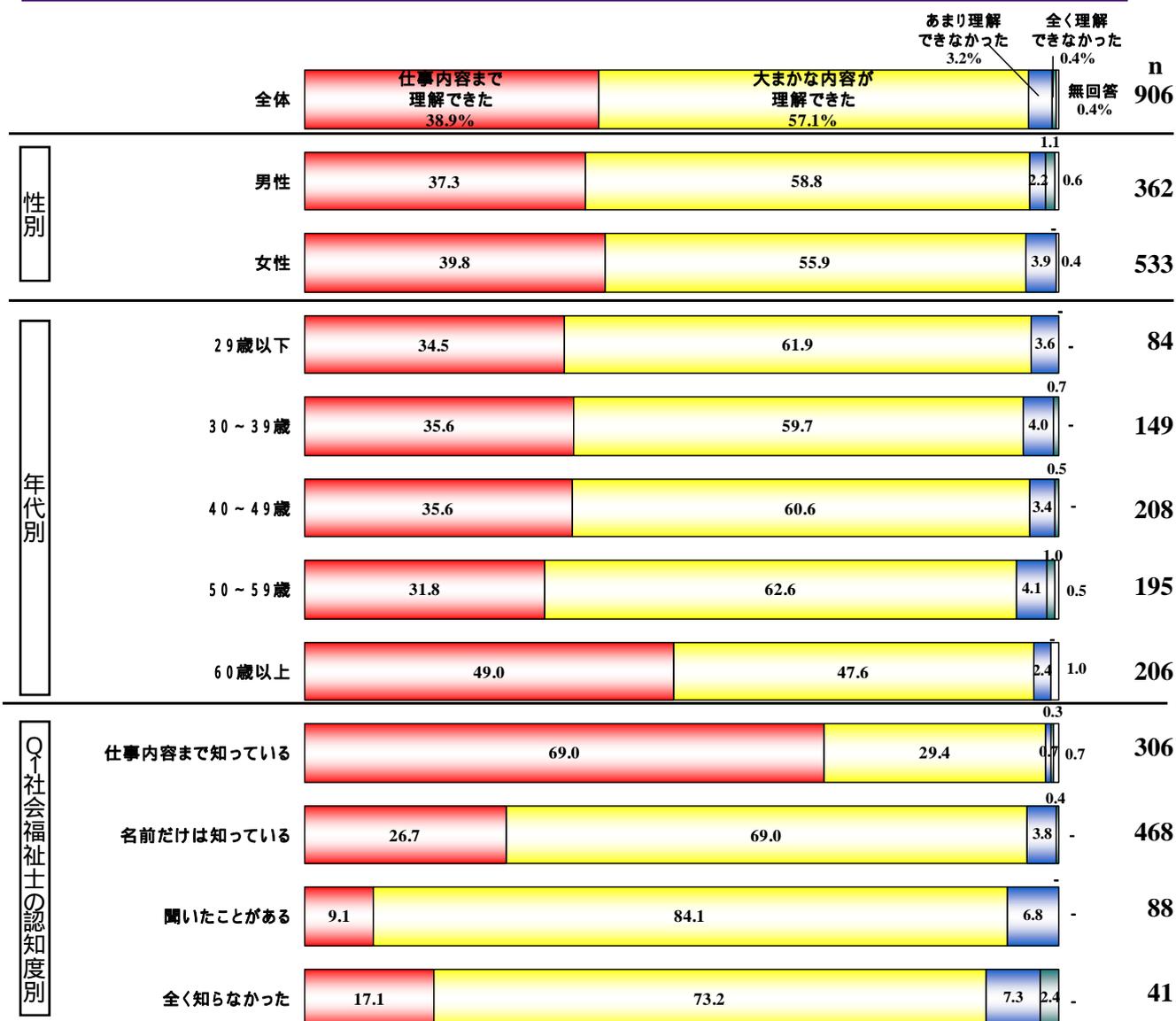
- 全体、性別、年代別、Q 1 社会福祉士の認知度別 -

広告特集を読んで、社会福祉士について知ることができたかを聞いたところ、「仕事内容まで理解できた」(38.9%)と「大まかな内容が理解できた」(57.1%)をあわせ、9割以上が“理解できた”と答えた。

【性別】男女で差はない。

【年代別】「仕事内容まで理解できた」は60歳以上でやや多いが、「大まかな内容が理解できた」と合わせると、いずれの年代も9割以上が“理解できた”と答えた。

【Q 1 社会福祉士の認知度別】社会福祉士について『名前だけは知っている』『聞いたことがある』『全く知らなかった』人でも、“理解できた”と答えた人がほとんどであった。





## Q3 広告への意見・感想（自由回答）

広告特集への意見感想を自由回答で聞いたところ、906人中883人から回答があった。

内容を複数回答で分類したところ、『社会福祉士の仕事内容が理解できた、参考になった、分かりやすい』（302人）という意見が最も多かった。既に福祉関係の仕事に就いている人でも、「ここまで仕事の範囲が広いとは知らなかった」「社会福祉士という職業があること自体知らなかった」などの意見が目立った。

次いで、『社会福祉士はこれから需要が高まる職業だ、素晴らしい仕事だ、活躍を期待する』（222人）が多い。

続く『社会福祉士や福祉の分野について広告することはよい、また特集してほしい』（125人）では、「広告することで、これから目指そうと思う人が増えるのでよい」「社会福祉士が必要な状況になった時の為に、このような職業の人がいることをアピールすることはよいことだ」「このように広告することで社会福祉士の地位向上に繋がる」などの意見が目立った。

要望では『もっと具体的な内容が知りたい、詳しく知りたい』（82人）が多く、「どうすれば社会福祉士の資格が取れるのか知りたい」「現場での具体的な仕事内容、処遇、就職状況なども知りたい」「デメリットも含めた情報も知りたい」などの意見が目立った。

883人中(人)

社会福祉士の仕事内容が理解できた、参考になった、分かりやすい	302
社会福祉士はこれから需要が高まる職業だ、素晴らしい仕事だ、活躍を期待する	222
社会福祉士や福祉の分野について広告することは良い、また特集してほしい	125
自分や身内が福祉関係の仕事をしている、資格を持っている、福祉を学んでいる	88
もっと具体的な内容が知りたい、詳しく知りたい	82
社会福祉士の待遇・制度への要望	51
社会福祉士の仕事に興味を持った、なりたい	49
興味深く読んだ、面白い	31
若い人や自分の子供・孫に、社会福祉士の仕事に就いて欲しい	28
社会福祉士や介護福祉士の世話になったことがあり感謝している	27
他の職業、職種、資格、テーマでも特集してほしい	19
福祉系の大学・学部のご案内があるのがよい	10
社会福祉士を取り巻く状況や養成校への意見・疑問	10
インパクトがある、紙面デザインがよい	6
その他広告への要望	24
その他	52

# 質問文・単純集計結果

Q1 あなたは社会福祉士について知っていましたか？

	N=906	
仕事内容まで知っている	33.8	%
名前だけは知っている	51.7	
聞いたことがある	9.7	
全く知らなかった	4.5	
無回答	0.3	

Q2 この広告特集をご覧になって、社会福祉士について知ることができましたか？

	N=906	
仕事内容まで理解できた	38.9	%
大まかな内容が理解できた	57.1	
あまり理解できなかった	3.2	
全く理解できなかった	0.4	
無回答	0.4	

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
男性	29歳以下	社会福祉士の資格を取る為に勉強しているが、将来どんな仕事をしたいか明確に決まっていな。仕事の内容も大体のことが分かっておらず、資格を取る事に意味があるのかと考えていた。仕事の様子が分かり、社会福祉士が非常に重要なものだと感じた。人の為に役立ちたいと思っているので、資格を取ることは意味のあることだと思った。	18
		私は今、会社に勤めているが、社会福祉士を目指すため、会社を退職することになっていた。そんな中、新聞で、社会福祉士の仕事や魅力について、実際に仕事をしている方の意見を聞くことができ、とても励みになった。自分の夢に向かい頑張りたい	19
		紙面下の福祉系の大学、学部についてもっと知りたいと思う	19
		社会福祉士の名前は知っていたが、実際どのような事をしているのかは全く知らなかった。そもそも福祉という言葉自体、意味が良く分かっていなかった自分に気がついた。社会福祉士の活動は、自分が考えていたよりも幅広いということが分かった。4人の方の話を読んで、現在マスコミが社会問題と称する物事に直に携わっているのだと思った。社会福祉士の活動範囲は日々拡大しているとあったが、どのような場面で拡大が必要だと感じたのか、活動が拡大したことで周辺の人や組織との摩擦などはなかったのか、他の職業の人に出来ず、社会福祉士だからこそ出来たこと具体例なども知りたい	20
		社会福祉士の国家資格を取るために4年生大学に通っている。今年卒業なので、丁度いま将来の事について悩んでいるときだ。そんなときに広告を読んだ。昔からスクールカウンセラーになりたいと思っていたが、福祉に進み、教育とはかけ離れてしまったのであきらめていた。しかし広告でスクールソーシャルワーカーの存在を知り、やっぱり自分の夢をあきらめたくないとはっきり思えた。どれくらいの窓口があるか分からないが、しっかり勉強して国家試験に受かり、学校で働きたい	21
		将来、社会福祉関係の仕事に就きたいので参考になり勉強になった。	22
		私は社会福祉士を目指している者です。社会福祉士の活躍の場が広がっていると聞いて、とても感動しました。	22
		福祉士の仕事が少し理解できた。活躍の場がもっと広がると良いと思う。	23
		職種や仕事の内容はある程度知っていたが、今回の記事を読んで医療分野だけでなく、教育や行政などの分野にも仕事を行っている人がいると初めて知った	23
		社会福祉士の仕事が多岐にわたりこれからの時代、益々重要性が増している事がわかった。	24
		多くの人が、聞いたことはあるが何となくしか知らない社会福祉士について、理解する良いきっかけとなった。	24
		いろいろな角度からとらえていて良かった。	25
		今や多くの価値観を持つ人々が生きていく社会の中で、社会福祉士がどの様に関わっているのかを伝えるのにとっても良い広告だったと感じる。それぞれの社会福祉士が、その目の前の人達が生き生きとした生活を送る支援しているのを、この広告を通じ人々に伝わればと願っています。	25
		アンケートとプレゼントのコーナーに目を向けていなかったらただの広告だと思いページをめくっていた。少しでもカラーがあるなど、紙面に工夫が必要と思う。	26
		身近なことをわかり易く解説、勉強になる。	26
		社会福祉士について勉強になりました。	27
		社会福祉士について知る事が出来て良かったです。	27
		社会福祉士が必要ということがわかりました	27
		勉強になった。今の時代に合った仕事であると認識した。少子高齢化へ向け活躍の場が広がるのは良い事ですが、資格を取りやすくする事も大切だと思う。資格取得後、その分野への就職が出来るのかどうかこの辺もしっかり考える必要があり、自治体の採用はこの職種でも1名か2名である。もっと就職しやすいようにする事が第一だと思う。	28
		世間では社会福祉士の認知度は低いと思う。先ず第一に仕事内容が良く判らないという点があると思うがこの特集で少し判った。もっと社会で認知してもらえるようにこのような特集を沢山組むと良いと思う	28
		社会福祉士という資格はあるという事は認知していましたが、実際にどのような所でどんな風に生かされているのかははっきりとは分かりませんでした。今回の広告特集という形で現実で働いている方々の仕事内容がコンパクトにまとめられていて理解する事が出来たので大変良かったと思っています。	28
		本当によく知ることができました。紙面が大きいというのも理由の1つですが、専門情報誌や大学紹介の本よりもわかりやすいです。これからもこのような形で、様々な職業を紹介していただけたら、社会人のみならず、高校生には特に進路選択のための貴重な情報源になると思います。	29

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
(男性)	29歳以下)	これからますます福祉に対する期待とニーズが高まっていくと思う。福祉職に携わる者として責任あるこの仕事に誇りを持ちました。	29
		「社会福祉士」という仕事の重要さ、大切さを、今回の記事を拝見し大いに感じました。	29
		今後ますます高齢化が進む事や、ワーキングプア、引き籠りの問題など、社会福祉の在り方が問われてくると思います。社会福祉の専門知識を持った人材育成が重要だと思います。	29
男性	30代	ソーシャルワーカーという名は耳にしたことがあったが、社会福祉士の別名とは知らなかった。	30
		私は社会福祉士ですが、社会福祉士の地位は低く、とても大卒で国家試験を突破したものとは思えず、まともな生活ができません。	30
		障害児教育の特集も作ってください。なんとなくわかってきた。	31
		これから少子高齢化がますます進むのでこのような資格も大切だと思う。	31
		社会福祉士に関りながら、社会福祉総合センターでも良く知られている事だと感じた。	32
		もっと存在をわかって貰える様な報道の仕方をすべきであると思う。	32
		具体的にどのように変わるかいまひとつよくわからなかったが、社会福祉士の方々が働き易く十二分に能力を発揮できキチンと評価されるようになって欲しい	33
		自分自身、介護支援専門員として仕事をしている中で、近い将来、通信教育等で社会福祉士の資格を取りたいと考えていたところで、今回の特集は、現在の制度を知る上で、大変勉強になった	33
		私は社会福祉士を目指しており今回養成校協会のホームページで朝日新聞に載っていることを知って読んで非常に参考になりました。今後も社会福祉について取りあげてください。	33
		社会福祉士の価値がわかりません。なぜなら幅が広すぎるからです。専門職の方がいるに関わらず、これもあれも首を突っ込みすぎているのではないのでしょうか。その為に独学がない限り、中途半端で役に立たないと思います。障害や高齢者は医学では解決できないことが多いのですから。法改正で実践的になるみたいですが、一部の人が恩賞を受けてその他の方が名前だけの国家資格にならないことを期待しています。	33
		初めて社団法人日本社会福祉士養成校協会の存在を知った。各分野のソーシャルワーカーの仕事や役割が、端的にわかり易く紹介されていて、良い広告だと思う。	34
		正確な仕事、活動内容は知らなかった。色々な面で活躍していることを知ることが出来た。ますますのご活躍を期待する。	34
		社会福祉士の知名度は決して高いとはいえないが、これからの高齢社会では必要な資格であり、もっと活躍できる存在になって欲しい。	34
		頑張ってください。	34
		これからの社会に大切な仕事だと思いました	34
		行政書士を取り上げてほしい。	34
		現在、資格保持者ですが、まだまだ活躍できる分野があることを知りました。	34
		資格内容、職種も複数紹介があり理解できました。	34
		これからも社会的認知度が低い将来必要と思われる職業等の特集を	34
		この広告によって社会福祉士になりたい人々が増えればいいと思います。	34
		地方は高齢世代が多い為、ほとんど知られてないと思う。メディアの活動とその内容をもっと表舞台に出して下さい。	35
		社会福祉士という仕事が身についた感じがする	35
		社会福祉士を取得しても、活動すべき職場、採用は少ない。資格取得したものでないとかかわれないような分野であるのに、無資格でも活動できている。大きな問題点だと思う	35
		今の若者にとっては、切実ではないが、協力の必要性を感じる。	35
		今後特に注目される職業になってくると思います。	35
		まだまだお世話になるのをいやがる傾向強い	36
		介護保険制度の下、ケアマネージャーとして仕事にあたる毎日。日々、自分の力不足を感じる事が多く社会福祉士の学習範囲は正にケアマネージャーにとっても必要と感じている。	37
ソーシャルワーカーにも色々な分野があることがわかった。今後資格を取り、人様の為に働きたいと思っている。ソーシャルワーカーも選択の一つになった。	37		
社会福祉士の活躍の場が医療福祉、行政、教育現場など多岐に渡っている。それぞれの分野での専門性を高めると同時に連携を深めていく事が大切であると考え。現場は異なってもよりよいソーシャルワークを目指す志は普遍であると考えたい	37		
なじみのない職種の知識が得られてとても良いと思った	37		
社会福祉の幅広い活躍の場が紹介されていますが、これ以外にも考えられるのは障害者等の身上監護や新しく制定された成年後見制度における後見人等が考えられるのではないのでしょうか。成熟した社会では社会福祉士の職域は更に広がるような感じを受けました。	37		

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
(男性)	30代)	私は大学で経営学を学び、営業マンとして働いているが、将来(近いうち)、働きながら通信制か夜間で社会福祉士の資格を取得し、転職しようと思っている。そんな折、新聞の広告特集を見て、高齢者施設ソーシャルワーカーの都崎さんのインタビュー記事には、なるほどと思われた。これから、高齢化が急速に進むわが国では、社会福祉士が変わらなければ、日本の社会を支えていけないのではないかと考えている。より実践的な人材育成、職域の拡大、任用・活用の促進、社会的な地位向上、をめざした社会福祉士制度の法改正が昨年行われたことは、非常に良い事だと思う。私も将来、社会福祉士の資格を取得し、転職できたら、また一から学ばなければならないことが多くあると思う。そのためにも、社会福祉士が変わるだけでなく、私も変わらなければいけないと思う。今回の広告特集は、そういうわけで、私にはよかったと思う	37
		社会福祉士がスクールソーシャルワーカーとして働いている事は、初めてこの紙面で知った。介護福祉士やケアマネ等の情報もお願いしたい	37
		大変参考になりました。	37
		現代社会に必要不可欠であることが理解できた。	37
		もう少し詳しく載せて頂きたかった。	38
		社会福祉士さん達の活躍の場が広がり、支援を必要としている人達の生活が希望の多いものになれば良い。	38
		社会福祉士の活躍分野も近年、幅が広まっていることに気づかされました。	38
		ソーシャルワーカーといっても多方面に関する職なんですね。現代の社会のニーズに応える点で重要な仕事ですね。	38
		参考にして、生きていきたいと思った	38
		結局のところ、社会福祉士の具体的な仕事像が見えてこなかった。以前、私が社会福祉士にお世話になったのは、病気で通院先の病院にて、入院受け入れ先の病院を探していただいたことであるが、待合室でのその間、私の行動を監視していたのが不気味だった。この広告特集では、社会福祉士の職務の素晴らしさを強調されているが、実際の姿とギャップを感じてしまった	38
		一読するに値する、意義深い読み物だった。	38
		この記事を読んでソーシャルワーカーにはさまざまな分野があることを知り、また社会性の高い仕事であると理解しました。	38
		一口に社会福祉士といってもその多様な仕事内容が、携わる方々の生の声でよく分かった。	38
		1面を使っての宣伝ならばもう少し突っ込んだ内容が望ましかった。	38
		今まで輪郭しか知らなかった業種の全貌が見えてきて今後の役に立った。	38
		少子高齢化を迎える中で知識の提供だけでなく今後の将来を考える良い機会となりました。	38
		少子高齢化に突入するに当たり、今後も、福祉・介護・医療・保育(子育て)に関連する部門特集を期待する	39
		現代の日本にとって深刻な問題と密接に関わり合っているのでも勉強になりました	39
		司法ソーシャルワーカーについても触れて欲しかった	39
		(男性)	40代
福祉の仕事をしているので社会福祉士の資格存在自体は知っていた。このように新聞一面に広告が出たのは驚きでインパクトがあった。この広告を見てどうすれば取れるのかという興味に繋がると思う。養成技協会のHPを見てくださいという流れなのか。社会福祉士資格取得へのルートの表をどこかに載せると良かったのではないかと考えた	40		
社会福祉士の役割が良くわかった	40		
社会的に弱者の方が、よりより生活を送るために、必要な仕事だと思う	40		
重要な仕事と思う	40		
これからの高齢化社会に向けて、社会福祉士の役割がますます重要になってくるので、頑張っ欲しい	40		
今後ますます高齢化が進む中で、社会福祉士の活動は日常の生活において地域や行政とのパイプの役目を果たす、重要な相談業務の専門であるということが理解できたのがよかった	40		
社会福祉士の名称は知っていたが、業務は知らなかった。この広告でその一端が良くわかった。	41		
高齢者や障害者だけだと思っていたら、教育とか行政などもあって、また1つ勉強になりました。	41		
社会福祉士について理解できる内容の記事であり大変有益だと思います。	41		
広告スペースが大きすぎ	41		
社会福祉士という大きな文字が目を惹いた。興味をもった。これから注目していきたい。	42		
現在医療、福祉業界に勤務しており、今後介護福祉士、社会福祉士を目指しているのでこの広告の記事は参考になった。これからも継続して掲載して欲しい	42		
どんな風に資格を取得し、どのように就職していくのか	42		
ほとんど仕事の内容知りませんでしたが、この記事を読み大体理解しました。	42		
(男性)	40代)		

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士と社会福祉主事任用資格の違いがよくわからない読者も少なくないので、それについての説明があるとよかったですと思います。	42
		社会福祉士の社会における貢献内容が判って、参考になった。	42
		社会福祉士の仕事、具体的でわかり易く理解できた。少子高齢化の時代を迎えている今、社会福祉士の活躍の場はさらに広がっていると思う。広告により広く社会に認知されるきっかけになったように思う。	43
		社会福祉士はすごく難しい国家試験と思っているので重要な仕事内容だと思う	43
		私も社会福祉士を目指していた一人です。01で10年勤め、やはり人の役に立つ仕事をしたいと、30歳を過ぎてから通信大学(佛教大学)に編入し社会福祉士受験資格を得ました。試験は難しく1回目は失敗しました。本格的に勉強をしようとしている時期に結婚し現在は専業主婦ですが、新聞広告を見て、またやる気になりました。しかし社会福祉士の仕事はまだまだ知らないようです。もっと具体的な仕事内容を詳しく載せてください。	43
		社会福祉士について少し知ることができました。これからも頑張ってくださいと思います。	43
		福祉は自らを知る事とあるが、今に至るまでその様な事を考慮した事さえなかった。福祉の必要性のみならず奥深ささえ思い知らされた気がする。	43
		今回の特集を見て、社会福祉士がどんな領域(今までは漠然としかわからなかったが)で活動されているのかわることができた。ただ、イラスト等を用いれば、更にわかりやすかったのではとも感じた	43
		大変良かった	43
		よい企画です	43
		もう少し具体的な仕事の内容や、仕事の大変な面なども掲載されればよかったですと思います。	43
		開業の社会福祉士です。インパクトのある紙面でとても良いと感じました。興味をもたれる方が増え、反響があればと思います。養成校の意気込みも感じることが出来ました。	43
		社会福祉士＝ソーシャルワーカーであることを初めて知りました。	43
		福祉における専門職の一般への理解と、今後の発展の為に広告特集は継続的にあるべきと思う。	44
		スクールソーシャルワーカー。医療ソーシャルワーカー。公高齢者ソーシャルワーカー。行政ソーシャルワーカーなど多彩な分野があると知って研究してみたいと思う	44
		高齢者施設に勤務している者なので、普段ソーシャルワーカーには接する機会が多い。ただ今回、この広告を通じて活躍の場が多いのには正直びっくりした。	44
		社会福祉養成の大学が数多くの大学である事を知りました。	44
		SWという何でも屋的な存在が現実のように感じる。特に、高齢者福祉において、ケアマネージャーとの両輪だと思うので、この連携をもっと取れるサポート、仕組み、研修があれば、互いに相乗効果が期待できるのではないかなと思う	44
		もっと告知・周知徹底を希望いたしますが・・・	44
		ソーシャルワーカーとは医療分野しか活動の場所がないと思っていた。行政やスクールにもあることに驚いた。勉強になった。	45
		この仕事の重要性をもっとPRすべき。	45
		社会福祉士の存在の大切さがわかった	45
		医療機関や高齢者施設に、ソーシャルワーカー(SW)さんがいることは知っていたが、学校現場や行政機関にSWさんがいることは知らなかった。MSWやPSWという名前は聞いたことがある	45
		やりがいには十分あり、期待されるといわれるが、任用・活用の促進、社会的な地位向上に感じられない。愚痴ばかり言うつもりはないが、社会福祉士だけでなく、福祉分野で働く人の質を高め、人の確保をするには、その条件を向上、安定させなければ、生き生きとした生活をするためのパートナーはできない	45
		4人の社会福祉士の思いが、ひしひしと感じられた	45
		実際の現場で役立つ資格であってほしい	45
		脳内出血に倒れて以来、リハビリ生活の私にとって社会福祉士をはじめ福祉に関する仕事をされている方々は身近な存在です。このような特集記事はありがたいので、今後もお願いします。	45
		社会福祉士について、大体のイメージがつかめた	45
		社会福祉士を目指しています	45
		精神福祉保健士などさまざまな医療等の現場で働いている中、社会福祉士という言葉は初めて聞きました。もしかしたら病院でメンタル関係の病気でお世話になったのかも知れませんがよくわかりません。いろいろな資格が錯綜していますが、悩みがあるときにはどこに行けばいいのかわかるように教えてほしいです。	45
		お仕事たいへんそうですね	45
(男性	40代)	たいへんな仕事であることが分かりました。	45
		記事の内容・量が適切で読みやすい。レイアウトも良い。こういった職業が脚光を浴びるのも時代の要請であろうが、良い企画だと思う。いち早く世の流れを、知らしめる役割を果たしている。社会の公器たる新聞の面目躍如といえる広告だ	45

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		養成校は北から都道府県ごとに校名と学科(コース)名、所在地を記した方が修学するものに探しやすく参考しやすいと思う。現在全国に社会福祉士の資格を保有している人の数がどのくらいいるのか記されると参考になる。	45
		資格を得て活動している人々の話をもっとたくさん聞きたい。続編をお願いします	45
		高齢者が多くなってきているので大切な仕事だと思う。	46
		大学がこんなに沢山あったのに驚いた。勉強してみたい	46
		障害者1級であった義母の日常生活を通して、個人体験からも携わっている各団体・所属グループの積極的なPR(人材確保等)が急務と思います。社会福祉士のニーズではなくてウオントになっている	46
		今後、社会福祉士がますます重要になると思います	46
		今後需要が高まる資格だと感じました。	46
		現在社会人だが、社会福祉士を目指すには通信教育といった方法があると思う。スクーリングや実習と仕事を両立させるために、各大学等のスケジュールの配慮はあるのか。そういった意見について教えて欲しい	46
		非常に興味深く拝見しました。	46
		4年前、働きながら通信で学び、社会福祉士の資格を取った。現在社会福祉士を養成する専門学校で教鞭を執っている。従って4人の先輩方の記事はどれも新鮮なものだった。学生にもコピーを配布し、金澤さんや篠田さんの記事について「どうしたらお二人のような仕事に就けるのか」と質問を受けた。学生達に囲まれ、日々、「社会福祉士」になるための授業運営を行っている。学生達の関心はやはり「社会福祉士になれた場合、就職は大丈夫なのか」ということだ。是非今回のような記事を今後ものせていただけたらと思う。個人的には都崎さんの「相手の立場に立つ」「自分のメガネの色を分かる」というメッセージが非常に心に残った。今後も自分自身の研鑽に勤め、「相手の立場に立ち」「自分のメガネの色をわかる」人間にと自己覚知、そのような人を育てるお手伝いをしていきたいと思う	46
		もっと福祉に関する広告記事をお願い。現場の声を聞きたい。	47
		社会福祉という仕事の活動する場が増えてきた事は、社会の進歩だと思う。これからも期待ある職種だと感じた。	47
		我が母校の慶應義塾大学にも看護医療学部には社会福祉学科を設けるべきである。ライバルの早稲田大学では人間科学部で社会福祉の勉強ができる	47
		これからますます重要な仕事だと再認識しました。	47
		親が子供の躰を放棄した日本では親の代わりが必要であり、それが社会福祉士だと思う。9万人が資格を持ち1万人しか働いていないのもヘルパーと同じだろう。わがままなお客様に嫌気がさして辞めていく数は公表出来ない程多い。公務員として身分保障する等やりがいを持たせるべきだ	47
		社会福祉士は、一人一人が社会的役割を担っていて、重要だと感じた。将来資格を取りたい	47
		すてき、参考になった	47
		面白い	47
		広がりはあるが、現況に関わる制度の矛盾・見直し、行政連携など諸問題は多く、もっと課題についても(特に精神面なども)触れて欲しい。	47
		初めて知って、参考になった。	47
		結局何が変わったのか分からなかった	47
		社会福祉士とはどんな職業がこの広告でよくわかった。目指したいと思った	48
		good	48
		私は、ホームヘルパー1級だが、各部機関で社会福祉士の方の格差が大きいのにびっくりする。病院等では、おむつ交換等、ワーカー(3級無資)と同様同等である。役所の社会福祉士も、福祉課は役員で、無資格で、障害課でも数人である。不思議である。福祉系大学卒スタッフさんしかいない。自分たちが、広い考えを持ち、窓口を大きく、幅広く理解していただき、様々な分野でお役に立ちたいと思った。若い方はスムーズでも、キャリアを持った中高年も役立つようになりたいのである	48
		社会福祉士は、大変だがやりがいのある仕事だと思う。若い人たちに頑張ってもらいたい	48
		感動した。	48
		仕事の内容がすこし、理解出来た	48
		おもしろい	49
		より幅広い世代にも理解してもらえるようにマンガなどを取り入れると良いと思う	49
		昨年限りに関わるような病気をした。大学病院に入院して手術、治療を受けたが退院前にも退院後の生活等について病院のソーシャルワーカーの方に相談して適切なアドバイスを受けることが出来た。今回の広告を見て改めてソーシャルワーカーの役割がとても大切なものだった。これからは患者や相談者に良い対応を期待している	49
		人の役に立つ仕事ではあるが、ヘルパーの問題同様、現実、厳しい問題を抱えている分野なので、夢の部分も大切だが、厳しい現実直視の話題も知らせるべきだと思う	49
男性	50代	大まかな仕事の内容は理解できたように思うが、具体的な情報に貧しいと思われる。例えば、都道府県別にどの位の数がいるのかとか、資格を得るにはどの位難しいのか、給料体系はどうなっているのか等。	50
		現在、9万5千人が登録していると記述されているが、法令上職務として活用されているとは言いがたいと思う。	50

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		その他の知られていない国家資格についても特集して欲しい。	50
		この資格に興味を持った。取得したいと思った。	50
		勉強になった	50
		社会保障の行く末が不透明な中、福祉とは何ぞやと考えさせられます。不特定の資産王に振り回されて鎮静化せぬ物価高騰の荒波に庶民は溺れそうです。民主主義=資本国家である我が国において福祉の定義はどのように捉えられているのか？高齢化社会の到来は20年以上も前から既に叫ばれています。そんな中で社会福祉士は誕生したがどうだろうか認知度は？私の周囲にいる人々に聞いてみても、知っている人は一握り(私は大まかな仕事内容は知っていました)。今回のテーマである「社会福祉士が変わる」についてですが、その資格の位置付けが確立されてゆくのが紙面から受け止められます。地道な努力が大きな礎となって政府の重い腰を上げさせ、社会保障に占める福祉の割合を伸ばせば荒波にも幾分耐え抜けるかと思えます。社会福祉士の存在に万能を求めています。誠意と熱意を。	50
		日本が、社会福祉大国になるように願ってます。	50
		社会福祉士の役割や、その仕事の分野の広いことがよく分かった。今後の人材育成に期待したい。	50
		社会福祉士は重要な国家資格であり、これからの日本には必要な存在だということが分かった	50
		社会生活が多様化し、高齢化も進む中で人を支え自分を知り人として大切な事を学べる仕事。期待します。	51
		自分も現在社会福祉士の資格取得に向けて勉強を始めたばかりなので興味深かった	51
		ソーシャルワーカーと聞き医療現場で患者や家族の相談や悩みを聞くぐらいの知識しかなかった。僕たちに社会の変化に対応して広い範囲で活躍していることを知った。広告特集を見てこれからも特集記事を載せてほしい。若い人たちに頑張ってもらいたいし応援したい。	51
		社会福祉士を目指しています。受験資格取得まであと1年。	51
		社会福祉士が9万5千人登録されている事に驚いた。それら社会福祉士が活躍できる場が、今、どれくらいあるのか知りたいと思った。養成する学校も大事だが、学校を出ても、勉強した知識が生かされないなら…	51
		楽しみにしています	51
		今後の、高齢化社会においては、広告のような、社会福祉士が、重要になってくると、思います。	51
		私は障害者施設で社会福祉士として相談支援専門員の仕事に携わっています。国家資格である社会福祉士は私が取得した頃(12年前)に比べ、はるかに認知されてきたと感じます。今回の広告のように全国紙で大きく取り上げられることを私はとてもうれしく思います。これからは精神保健福祉士、介護支援専門員などの資格も掲載していただきたいと思えます。これらの資格取得に向けて学習されている皆さんにとっても励みになると思えます。	51
		これからの高齢化社会においては、安心して暮らすためには社会福祉士の存在はとても重要だ。そのために、今回のような広告がたくさんの人目に触れる機会を多くして、たくさんの人に社会福祉士の重要性を認知させることが大切だ。また社会福祉士の方の働く環境が良くなることを願う	51
		社会福祉士の定義的説明が欲しかった。自分も社会福祉士になりたいと思った。	52
		活字が多く、インパクトが弱い。判りやすく箇条書きにしたり、グラフ、チャートを使う、カラーを取り入れるなど、人の目を引きつけるような工夫が必要	52
		少子高齢化及び老人医療費削減問題が叫ばれつつある昨今、待遇が改善されず介護職を辞める人も多中、福祉を教える大学が結構多いのに驚きました。	52
		こういった広告が出ると社会福祉士をめざそうとする若者が増えそうで良い	53
		社会的周知に役立っているし大学も分かり易く大変良いと思いました。	53
		説明がとても分かり易いと感じました。	53
		地域において、高齢者の在宅での生活や、障がいを持つ人々が自立して生活を送る為の支援・援助といった地域福祉を行う上での必要性を感じました。	53
		収入・勤務条件等についての情報がほしかった。	53
		介護福祉士との違いなども説明して欲しかった	53
		新聞はきちんと読まないといけなと思った。	54
		スクールソーシャルワーカーに興味を持っている。金澤ますみさんの他機関との調整の重要性を認識できた	54
		もっと社会福祉士の仕事の内容を紹介する特集を組んでほしい。具体的にどのような問題に対してどのように対応したのか等。	54
(男性	50代)	何かしら人のため社会のため働いていきたいと考えています。今回の広告特集で改めて「社会福祉士」を知りました。私自身も高齢化社会の中で「高齢者」になろうとする一人です。それまでに「高齢者」のために役立ちたいとも考えています。	54
		内容が解りやすく良い	54
		高齢化社会を迎え、医療や介護のコーディネイト役の社会福祉士の役割が重要になり、人材育成の強化が望まれる。	54
		社会福祉士の社会的な地位の確立が大事だと感じた。	54

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		これからの福祉医療行政に、重要な役割を持つ資格なので、相応な待遇評価がされるべきである。ドイツでは、病院に常駐している医療ソーシャルワーカーが医師と対等に患者の相談などに対応している。日本では医療ソーシャルワーカーを常駐させている病院は少数である。病院の規模に応じて常駐させるべきである。	54
		介護支援の中で、社会福祉士、介護福祉士、作業療法士、理学療法士など、個別の特集が連続して組まれればもっと理解が出来る	54
		広告というよりも通常の記事のように思う。	55
		スクールソーシャルワーカーのことを知り、大変勉強になった。若い世代の人達が記事を読み、患者側に立った提案の出来る社会福祉士が育って欲しいと思う。	55
		今日の社会福祉が国民すべてを対象とするものになる中、社会福祉士の果たす役割は一層重要なものとなると思われる。	55
		ソーシャルワーカーも色々な種類があるのには驚いた。この先色々な分野が出来そうだ。今の世の中に無くてはならない資格だと思う	55
		社会福祉士の進路状況などを図で表してもらえたら、理解しやすかったと思う	55
		国家資格となり、それぞれの分野で自信と誇りをもって人と接し、信頼し、信頼される人間関係ができることは良い事だと思う	55
		社会福祉士とは、どのような活動を展開するのか。また、これからの社会に、いかに大切なかかわりを持つ仕事であることなど、貴重な情報を得ることができた	55
		参考になります。	55
		最近特に就職活動で目にします。私も社会福祉士の資格に関心を持っています。	55
		新しい社会福祉士の姿がかいま見えてきた。生活者のパートナーとしての生き生きした生活を期待する	55
		1987年に始まったけれど待遇面とかどうなっているか知りたかった。必要性があるのに条件が悪い環境であれば良い人材は集まらない	56
		こういった広告はどんどん増やして欲しい	56
		社会福祉士について勉強する事が出来ました。	56
		私は、30数年前の20代の頃、市役所の生活保護課で、ケースワーカーを3年間位経験し、その間、医療ソーシャルワーカーの方々と、保護者の自立を手助けするための情報交換したことがあるが、この広告で、社会福祉士の活躍分野がこんなにも広がっている事を初めて知った。そして、今後も社会福祉士の必要性がより高まっていく事は、当然であることを実感し、我々、国民にとっても安心で、心強い事だと思った。最後に、今活躍されている社会福祉士の方々に「がんばって」のエールをおくる	56
		大変で 大切さがわかりました	56
		福祉関係の資格がいろいろあってよく分からない。介護福祉士。	56
		社会福祉士という資格の認知度やその地位向上に役立つと思う。	56
		社会福祉士の仕事を始めて知った。社会福祉士と言っても、その範囲や内容はとても広く、あらゆる分野に渡っていると言えるのではないかと。スクールソーシャルワーカーは、現代のように子供が犯罪の加害者や被害者になり得る時代には本当に大切な期待される仕事だと思う。	57
		今まで知らなかったり、理解できない事柄をこれからも、わかり易く説明した記事を載せてください。	57
		貴社の特集企画に敬意を表します。皆様のご活躍に頭の下がる思い。養成協力校名が明示されましたが、資格試験等について詳細を知りたいと思う。	57
		現場の方々の実践がじかに伝わってきて、意義と必要性が理解できた気がします。	57
		社会福祉士が世の人の為になる様子がよく分かりました。	57
		これでは社会福祉士がどんなものか、まだわからない。	57
		高校で進路の担当なので、生徒に教える時の役に立ちました。	57
		社会福祉士の仕事内容について、より輪郭がつかめ、その重要性を理解することができました。	57
		まとまっているので、概要がつかみやすい。	57
		高齢化社会の中でこれからはますます社会福祉士の養成、活躍が期待されると思います。	57
		今後も大切な情報を知らせて欲しい	57
(男性	50代)	もう一度特集して欲しい。MSW、他の仕事の紹介もして欲しい	58
		世のため人のために働きたいという人がいる。そうした人達のためにも今後も紹介して欲しい	58
		社会福祉士のことを継続して書いてもらいたい	58
		社会福祉士の仕事が、社会の変化等により多分野に広がっていることを知ることが出来た	58
		介護士と並ぶ仕事になると思う。	58
		社会福祉士の大切さを感じた。	59

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		息子が福祉関係を目指しているが、放射線技師として勤めている親としては、待遇面、重労働等からあまり勧めていない	59
		高校生の進路選択の良い資料となるよう是非定期的に広告特集を載せて欲しい	59
		身近に社会福祉士としての仕事をしている方がおり、この記事を見てやりがいのある仕事であることを理解でき、必要も感じる事が出来た。できればこの資格を取得を目指したいと思った	59
		4種類もあるとは知らなかった。今これらの資格の重要性は高まって来ていると思うが、世間に理解されているか疑問に思う。積極的アピールを願いたい。	59
		とても大事な仕事だとよく分かった	59
		社会福祉士の仕事に求められた責任と役目の重要さは感じました。介護福祉事業に就く若者に夢と希望を与えてもらえる広告であって欲しかった。さらに障害者や高齢者の社会福祉士に対する意見も載せていただき良かった。	59
		小生は今59歳で、今年定年です。そろそろ高齢者の仲間入りですが、恥ずかしながら、社会福祉士について全く知りませんでした。拝読し、良い勉強になりました。新聞の中にはスペースばかりとって役に立たない広告も散見されますが、このような広告はWelcomeです。	59
		是非必要と思います。	59
		社会福祉士という言葉のイメージから想像していた仕事の内容が少し理解できた気がする	59
男性	60歳以上	社会の色々な情報が分かり生活に役立ちます。	60
		こうした特集は世の中の勉強になるので大歓迎です。	60
		かつてはソーシャルワーカーと呼ばれていたと思う。	60
		今後も広告特集を続けて下さい。	60
		今年の3月で、27年勤めた老人福祉施設を退職した。本人の意思より、家族のそれが尊重されるというのが実感だった。びっくりしたのは、難関の試験に合格された人が、9万5千人いるということと、大垣市に6人もの社会福祉士がいらっしゃるということだった	60
		社会的に意義深い内容の広告です。	60
		まさに、今必要としている仕事だ。まだまだこれを育てる環境は少ないものの勉学に励む学校がわかった。	60
		ボランティアとの境界とか福祉士の待遇等は？	60
		社会福祉士の認識を新たにしました。	60
		困っているのを見かけたので非常に良い事	60
		理解しやすい	60
		ソーシャルワーカー社会福祉士及び介護福祉法等の一部を改正する法律が成立し、従来の児童、高齢者、障害者教育、医療、司法、行政などの分野へ大きく左右されている。こうした変化の中、生き生きとした生活をする為の担い手である社会福祉士に大きな期待が高まっている。子供達と学校と家庭との関係がより良いものに改善していく欠かせない仕事だ。今回の法改正で実習、演習を重視した実践的な人材教育が始まる。必要性は更に高まる大きな財産だ	61
		社会福祉会館の後退の中での専門職としての社会福祉士の役割について杞憂しています。	61
		もう少し深く広告特集を望む	61
		タイムリーな企画で、よかった。	61
		国家試験の受験資格(例えば実務経験など)も記載して欲しかった。	62
		今後機会があれば医療ソーシャルワーカーに就いて現況の医師、病院の諸々の問題等々との関わりを特集して欲しい。	62
		社会福祉士の仕事は大変な事と、人々の関わりで成り立つ仕事だと思いました。福祉に対してもっと勉強をしたいと思いました。	62
		これから日本は高齢化社会を迎えることは間違いないだけに、このテーマは特に関心が強いと思う。姪が社会福祉士・ケアマネジャーをしていて、色々と情報を得ているつもりでしたが、広告をじっくり読んでると新しい知識を得られるとともに、疑問点も多いと感じた。興味があることだけに、角度を変えて見たり聞いたりして勉強している	62
		社会福祉士の大まかな業務内容の理解が出来た。今後はより具体的な活動内容が掲載されれば更に理解できると思う	63
(男性)	60歳以上)	社会福祉士が社会において重要な役割を果たしている事、国家資格が付与されステータスも高い事、今後高齢化社会が近づくに伴いますその必要性が高まっている事、は理解できたが、その処遇面についても解ればと思った	63
		非常に有意義です。今後とも継続して掲載して下さい	63
		社会福祉士の今後の活躍へ期待	63
		社会福祉士について大変参考になった	63
		社会福祉士が変わって成長をバックアップし、生き生きとした生活をする。	64

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		福祉の研修会などに参加して社会福祉士の存在は知っているが、高齢者や障害者の分野のソーシャルワーカーは知らなかった。現場からの具体性ゆたかな発信で理解できた。登場している三人の顔写真の自信にあふれた生き生きとした表情が、揺るぎない確信を与えている。読者に新たな啓発を頂き有難く思う。	64
		各々の職業についている方の発言として読んだがもっと大学のカリキュラム内容についても知りたいと考えた。発言は本当の事だと思いがもっと内容を深めた話にして欲しかった。福祉士養成校として国立大学の1校のみが掲載されているが、国や治体ではあまり力を入れていないのか知りたくなった。取材して教えて欲しいと思った	64
		2010年から社会福祉士が変わると聞いています。社会福祉士についての広告記事を載せていただいて有難うございます。現在社会福祉士を目指して勉強していますが、社会福祉士の活躍の場が広がるということでしょうか。今は介護福祉士の仕事をしていますが、法律を学び、教員免許を持っている自分としては教育をも含めて身近な地域で、弱い立場の人への援助をしていこうと思います。法・制度が強者からのもの、社会福祉士は弱者のために必要かと思えます。65歳からが良いスタートだと信じています。	64
		少子高齢化社会を迎えている現在では、医療・介護・福祉の関係の仕事は、大変重要である	64
		ありがとう！恥ずかしながら、社会福祉士の仕事が大まかにわかりました。これからの時代必要です。どんどん宣伝して希望者を集めてください。お願いします。	64
		格差社会に入り専門職として期待が高い。	64
		社会福祉の授業の中で、社会福祉士の仕事の内容をわかりやすく説明できないでいた。内容がわかりやすいので早速授業で使わせて頂きました。ありがとうございました。	65
		社会福祉士養成の大学名のみでなく、入学案内や方法、費用等記載あれば良い。	65
		社会福祉士という仕事をする人たちが居られることは知っていましたが、漠然と介護をすることが主な仕事だろうと思っていました。しかし広告特集により、色々な分野での社会福祉士が居られることを知りました。力強い思いもしました。私の場合、高齢者福祉士の方にお世話になる可能性が大であり、この分野、内容について更に詳しく知る必要を感じました。	65
		自分の将来を考えると、その重要性が良く判った。	65
		社会福祉士や養成校の存在が意外に少ないことに驚いた。今後の多様化を期待したい。	66
		非常に判り易かった	66
		社会福祉士の仕事を具体的に法令化すべきと思う。抽象的な内容では困ります。	66
		社会福祉士の仕事がわかった	66
		今回あった法改正で、実習・演習を重視した実践的な人材育成、大きな力になってくれることを願う。これから社会福祉士を目指す人達を期待します	66
		4人のコメンテーターは、より詳しく各分野での活躍ぶりが見えてよかった。福祉だけではなく、教育や医療などに力を注ぐ資格は、言葉以上に難しいと思われる。大学をはじめ、支援体制がますます向上し、大きな役割を果たすべく進んでいって欲しい	66
		がんばってほしい。	66
		今、社会福祉事業がすごく盛んで、事業はきっと繁盛してることだと思います。だから社会福祉士は重要だと思いました。	66
		地位の向上、収入のアップと心が大切だと思う	66
		社会福祉士の仕事の内容をよく理解することが出来た	66
		社会福祉士の資格が国家資格となったのは知らないがこの広告で大まかな仕事内容がわかった	67
		社会福祉士の資格を得る為の試験の外略、内容の記事が欲しかった	67
		介護がいろいろ話題となりますが、社会福祉士がこんなに範囲が広いと思いませんでした。今回の広告で初めて知りました。私も67才でもうすぐ後期高齢者の仲間入りです。健康第一に頑張っていこうと思っています。	67
		仕事の内容がわかりました	67
		参考になりました	67
		参考になりました	67
		今後高齢化社会に向けて参考になる記事が多くて良かった。	68
(男性	60歳以上)	社会福祉士の範囲の広さを感じる。登録ヘルパーとして又ホームで生活援助の仕事を出来る時間で働いている。年齢も高いが仕事している姿を見てもらうことで利用者さんに元気を与えたいと思っている	68
		今回の広告特集は大変参考になりました。社会福祉の仕事は今後の日本にとっても、とても期待が大きい分野です。	68
		実際の仕事を具体的にもう少し詳しく書いて欲しかった。	68
		人が生きていく為に当たり前の生活が出来る。そのパートナーとなって役立てられた人たちの苦勞がわかりました。	68

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士を知る機会と成りました。	69
		現在の高齢化などを考えると社会福祉士の要員を増やすべきだと思った。	70
		具体的な事例をもっと提示するとよい	70
		勉強になった。新聞を読む楽しみが増えた。今後ともいろいろな掲載お願いします。	71
		社会福祉士については認識がなかったが多少分かった感じです。介護士等は知っていましたが、これからの活動に期待しています。また市町村に窓口を設け相談にのってくれたらと思う。	71
		この広告特集で社会福祉士の仕事内容がよくわかりました。	71
		大変有益であった	71
		良く分かりました。	71
		社会福祉士についてよく知ることができ、有意義だった。	71
		技術は勿論ハートの面でも相手の立場になってもろものことに対処して欲しい。	72
		社会福祉士の仕事内容についてはまだまだ知らない人の方が多いのでは。これからも新聞紙上で活動のPRを継続してほしいものです。	72
		よくできていると思う	72
		福祉関係は色々複雑で内容が良くわからないことが多い。この制度の確立で福祉関係が上手く運営される事を期待しています。	72
		住んでいる町では、高齢者福祉においてどのような実務がなされているかみてみたい。	73
		一つの表題で1頁広告は、非常にインパクトがある	73
		今後もっと理解できるように努力したい	73
		スクールソーシャルワーカーという職名初めて知った。他にもこうした例がありますか。	74
		社会福祉士の仕事が広がりを見せているのは当然であると思う。高齢化はもちろんのこと、格差社会などいろいろな案件が発生しているので社会福祉士の果たす役割は非常に大きいものと思われる。	74
		大半の人は理解したと思うが、関心のない人も中にはいるようだ。私はこの種の協議会の審議委員を委嘱されていますが、本広告は他にテレビ放映すれば理解度が深まると思う	74
		医療の仕事として健康、検診の分野で病院での勤務をしてきたので、更に社会福祉士として勉強し、ライフワークとしたいので大変有効な広告だった	75
		本当に有難いアンケートで良かった。感想も色々な事がわかって大変に助かった。最後に社会福祉士が変わるはいい事です。	75
		福祉の分野の国家資格であるという事は知っていましたが、福祉の分野だけでなく教育・医療・司法・行政などの分野への広がり、社会の歪みの最終のセフティネットとしての重要な部分を担う専門職だという事が良く分かりました。「人々が生き生きとした生活をするためのパートナー」に止まらず、私は「社会福祉士とは人のこころに灯をともし仕事」だと思いました。また、この広告特集は「社会福祉士を目指す若者へのメッセージ」として若者を勇気づける事でしょう。	75
		社会福祉士は、社会福祉六法をマスターした素晴らしい人材である。米川亜希さんのお話では、仕事内容が大変で、患者中心の判断をもとに的確な指導判断の大切さを共感した。篠田浩さんのお話では、あくまでも本人の申請・相談、解決へというのは大変良くわかるが、今の私には、理想の考えのように思う。今後、親身になって、やはり積極的にかかわっていくようになって欲しいと思う。弱者は、いつまでも弱者のように思うので。	75
		いずれは私も世話になるだろう。姉の特養生活の面倒を見て、介護疲れを体験したことがある。ソーシャルワーカーの重要性を共感した	75
		これからの社会で必要な資格の方の問題がわかり易い。	76
		現時代にマッチした国家資格制度と思う	76
		あまり関心が湧かなかった。	76
		去年女房が病気で2ヶ月入院した時ソーシャルワーカーの人に大変世話になったが、今後高齢化社会となった時、重大性は一層高まり、社会的に一段と評価が高まると思っている	77
		巻間、医療崩壊を耳にするが急ピッチで高齢化が進む今日では社会の要求が過大になっていると思う。まずは予防医療の充実が必要ではと思っていた。そうした中で今回の特集はタイムリーな企画だ。ソーシャルワーカーの活躍の幅の広がりは頼もしい限りだ。明日はわが身の高齢者として大変参考になった	78
(男性)	60歳以上)	高齢化が進む中、社会福祉士のお仕事が一層高まることに期待します。	78
		色々な分野に社会福祉士が活躍している事が分かった。後期高齢者なのでこれからお世話になる事が多いと思う。大変参考になりました。	78
		高齢化が一段と進む中、介護活動の場が多くはなりますが、良い人材と社会的な生活の保障と安心して仕事ができる制度の充実が必要だと思う。	79
		大変わかりやすい広告だった。社会には資格制度について予め知識を持っていた方が良いものが多く、シリーズで広告併用で新聞を通じてPRして欲しい	80

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士について各分野の方の子供、介護に対する体験、高齢者の福祉について、夫々使命を以って活躍されている事を知り、行政にも一段と支援が広がる事を念じて止みません。「認知症の人と家族の会」に参加している一員です。	80
		「生き生きと生活するためのパートナー」の存在そのものが我々に安心感を与えてくれるし、提案される選択肢をじっくり考える事で問題を解決していく積極的な意欲がこちら側にも必要であると思いました。	81
		家内がデイサービスに週1回通っていますので、この様な企画に関しては関心が高く丁寧に読みました。今後の参考にしたいと思っています。	82
		詳細を知った。	83
		孫本人の強い意思で社会福祉士になる為、日本社会事業大学に進学した。私共古い人間には本人の希望を理解できなかったが、広告を読んで理解できた。感謝しています。	85
		生活問題の解決は結局本人による。	85
		妻が要支援2で地元の地域包括支援センターの社会福祉士に指導を受けお世話になっています。	86
		まだまだお世話になるのがいやな感じがある	86
男性	年齢不明	4人の違った立場からの発言内容が社会福祉士という仕事の多様性を知る上で参考になった。また、4人の方達の関わり方の違いがなお一層この仕事は今度どう展開していくのかもあわせて理解できた。特徴的に言われている共通項は今後の「裾野の広がり」の中で求められていくことの多様性にどう対応していかなければならないのか、確実にこの仕事の中身の重要性がそれぞれのシーンで述べられていた点に注目したい。この話を読んで、これからこの仕事をめざそうと考えている人たちや、今何かの接点を持っている人たちにとって大変参考になる内容だと思う	
		一般読者に社会福祉士のPRができ、大変よいと思う。私は大学で社会福祉を専攻した。いまは福祉が随分一般的な言葉になった。	
		ソーシャルワーカーの仕事は大変だと思う。丁寧に話を聴き、その方に合った仕事をすれば忙しくなると思う。高齢化が進み、福祉予算も限られている中でソーシャルワーカーの負担が増えているのではないかと心配。	
		連載を希望。	
		重要な仕事だと思った。	
		勉強になる。	
		今回の社会福祉の様な、あまり知られていない分野の特集をしてくれる事は、普段はほとんど接する事がない私たちにとって、とてもありがたいこと。是非続けてください	
		行政職員には一定の規則の存在が権限としてあるように思う。ゆえに全てにおいて権利擁護者としてのソーシャルワーカーだと伝えたい。独立事務所で社会貢献できる仲間も増えつつある	
		自分の事よりも他人の事として弱者のことを最優先し結果的に自分の人格を高めていく社会福祉士の仕事は立派だと思う。このような業務に携わる人が増える事によって現代の日本社会の停滞現象も突き破られ明るい未来になると思う	
		スクールソーシャルワーカー。行政ソーシャルワーカー。高齢者施設ソーシャルワーカー等。全面広告の紙面に社会福祉士と混ぜて使っているがちょっとわかりにくいと思う。カタカナ表示を併用するなら関連事項でソーシャルワーカー。ケアワーカー。ケースワーカー等の単語参考説明があればより一層よかったですと思う	
		社会福祉士の仕事の内容について一般の人は理解されていない。3人の方々が仕事の内容について判り易く説明されて大変よかった。また自分の子供、孫達の大学進学にも役立つ	
		社会福祉士の資格を持った皆さんが病院や福祉施設、学校のような私達の身近な場所で活躍されていることがわかりやすくアピールされ関心を持って読むことができました。これから、より進む高齢社会の中で、一日一日を不安に思いながら暮らしている人は多いと思います。特に入院しなければならない高齢者の方、家族の方にとって支えとなってくれる専門職の方の助けは本当に有難いです。高齢者福祉に限らず教育や障害者福祉など多様化する問題の中で大変ですが頑張ってください。	
		現在、老人福祉の分野に従事しております。社会福祉士という職業について、名称独占のみで未だに業務独占されていない点が社会における社会福祉士への認知の低さにつながっていると思います。このように大きくマスコミ等で取り上げて頂き少しでも認知度を高め地位向上につながることを望みます。	
(男性)	年齢不明	社会福祉士は老人介護のような仕事と思っていたので目からウロコです。	
		現在社会福祉士の資格取得を志して働きながら大学の通信課程で学び直している身としては、既に資格を持っておられる先輩たちの声は励みになるものと感じている。今年は社会福祉士の法律が出来てから21年目になるという事で時代の変容とともに歩むべき福祉界の一員としてさらに自身を高めてゆく決意を新たに出来た記事だった。	
		今後、定期的に社会福祉士の必要を掲載して欲しい	

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		以前、地域のボランティア活動に参加し、社会福祉士の人との出会いがあった。ホームレスの方々に仕事の紹介や、病気になった方の病院の手配、生活保護の申請や、入院中や退院後のアフターケアなど、私も若かったら、社会福祉士の資格を取るために勉強して、人のために役立つ仕事をしたいと思ったことがあった。この広告を見て、いろいろな方面での役立つ仕事を選択できるのだと思った	
		社会福祉士をめざしたい気持ちになりました	
		豊かな日本を作り上げたのは今の高齢者であるため、生きている間は老後を若い者でささえたい。	
女性	29歳以下	社会福祉士について、名前だけは知っていましたが、どういうものなのかは知りませんでした。しかし今回この広告を読んで、どういうものなのか、なんとなくですが、分かった気がしました。	14
		進学する大学や各種学校など、まだ決まっていない状態なので参考になった。これから色々考えて人の為に役立てる仕事に就きたいと思う。	16
		私は、今高3で、進路について悩んでいるところである。この記事で、社会福祉士について知ることができ、とても役に立った。看護師や理学療法士は、だいたいどんな職(内容)が知っていたが、社会福祉士については、名前しか知らず、どんな職があるかなどは全く知らなかった。私は、将来、人の役に立つ仕事がしたいと思っている。今回の記事を見て社会福祉士にも興味を持ち、まだ今は、看護師、理学療法士と迷っているが、必ずどれかの職に就き、人の役に立てるように頑張りたいと思う	17
		更に福祉関連の広告を世に出して行き国民の意識を高めるべきだと思う	18
		私も今、私立の福祉大学で社会福祉士になるために毎日勉強している。この記事を読んだらとても共感させられた。早く人のために役に立ちたいと思っている。そのためには現場へ実習に行き学校では学べないようなこと体験し将来に役立てたいと思っている。この広告を読んでさらにそう思った	18
		この広告特集を読んで、今まで深く知らなかった社会福祉士について、とても詳しく知る事が出来、感動しました。大きな文字で見やすい、分かりやすい紙面でとても楽しく読む事が出来ました。社会福祉士の方々の福祉に対する考えや想いを知る事ができ、すごく感激しました。とても関心があるテーマと内容だったので本当に素晴らしい。とても読みごたえある広告特集で、今後期待しています。	18
		掲載されていない大学で福祉を学んでいる。まだ1年で何もわかっていないので大変驚いた。この人々のように社会福祉士を目指したい。	19
		社会福祉士になるために大学で勉強しているのでこの記事はとても興味深いものだ。一発で国家試験に合格できるように一生懸命頑張る	19
		もっと細かく社会福祉とは何か、ということを書いてあった方がいいと思います。この内容だけだと一時の興味だけで終わってしまう気がします。	19
		将来、社会福祉士になることを目標に、日々大学で勉強している。今回の新聞の広告を読み、ますます頑張ろうという気持ちになった。福祉関係の仕事の就く人は減少してきているので、広告などを読むことで、興味を持つ人などが増えてくれればよいと思う	19
		社会福祉士を目指している私にとってたいへん参考になりました。	19
		社会福祉士というものがないまま理解できていません。このような職業があることを、世間に広めていってほしいです。	19
		教育について学んでいるが、社会福祉士がどのような仕事をしているか知らなかった。教師の負担が叫ばれている中で社会福祉士の助けは必要と思う。高齢化社会が進む中、老老介護も増えてくると援助が必要になると思う。その為には、多くの人達に社会福祉士について知ってもらうことが大切だ。今回は福祉士の方々の話しか載っていないが、助けを借りている方々の話も聞いてみたい。	20
		社会福祉士の方々の中でも、いろいろな分野で活躍している人がいるのだなと驚いた。活動について非常に興味を持った。	20
		社会福祉士には「ソーシャルワーカー」という呼称もあることを、今回の特集を読んで初めて知りました。私は今大学で、英語の教員免許を取るために教職課程を履修しています。その中で特に、子供と保護者の関係、家庭内教育といったテーマの講義にいちばん関心があります。「スクールソーシャルワーカー」という職業について知ることができてよかったです。	20
		医療ソーシャルワーカーのことが、よく分かった。	20
		社会福祉士について学び中です。わかりやすくまとめてあり、これを見て社会福祉士の役割が社会にもっと認められたいと思います。福祉はいつの時代も必要なものだということを、新聞という立場からアピールしていただきたい。	20
		ソーシャルワーカーは知っていたが、どういうものか知らなかった。色々な場で活躍している。助けてくれる人がいると思うだけで心強い。特集を読むと勉強になる	21
(女性)	29歳以下)	読みやすかったです。福祉は障害者・高齢者以外だけが対象ではないことを初めて知りました。	21
		私は福祉系大学の4年生です。卒業後は社会福祉士の資格を取得して働きたいと考えている私にとって、今回の特集は非常に興味深いものでした。記事を通してですが、実際現場で、社会福祉士として働いておられる方のお話を聞け、また一つ勉強になりました。また、社会福祉士はまだまだ確立されていない部分があると思うので、様々な方々に社会福祉士を知ってもらえる、良い機会になったのではないかと感じました。	21

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		家族の入院中、お世話になった病院スタッフの中に、社会福祉士がいた。彼らは患者だけでなく、患者の家族の事もすごく考えていた。高齢化が進む社会において、ますます大切な職種だと改めて思った。	21
		今、社会福祉について大学で勉強しています。毎日のように掲載されている福祉問題は、本当に人ごととは思えません。まだまだ知らない事もあるので、ぜひまたこういう特集をして頂きたいです。	21
		福祉に従事していない人に対してはまだまだ認知度が低いものであると思うので、今回のこの特集でより幅広くの人に知ってもらえればもっと活動の場が広がると思います。私自身この資格をもっているのもっと有効に使っていききたいと思います。	22
		社会福祉士が様々な分野に携わっていることはよく理解できました。企画名には「社会福祉士が変わる」と題されていましたが、元来どのような仕事で、それがどう変わって今に至るのか、またはどう変わっていくのかは読み取ることができませんでした。	22
		具体的に色々な社会福祉士の方のお話があって、理解しやすかったです。現場で働いている方の話を聞くチャンスはめったに無いので、とても勉強になりました。	22
		養護教諭として働いているので興味深く読ませていただいた。	23
		社会福祉士として働くための方法をもっと知りたい	23
		社会福祉士の一人として、広告を目にした時は素直に嬉しかったです。国家資格でありながら、仕事内容や資格の認知度はまだまだ低いのが現状です。より多くの人に社会福祉士を知って頂き、またその期待にも応えられるような仕事をやっていきたいと思っています。	23
		社会福祉士の資格を取得しその後各分野で活躍されている方々のお話を読む事が出来てよかった。自分も社会福祉士だがまだ活用できていない。記事を読んで久しぶりに元気が出た	24
		私自身、社会福祉士として働く中で、世間における社会福祉士の認知度の低さを日々実感しています。このように紹介していただけたことを嬉しく思っています。	24
		社会福祉士という名前までは知っていたが詳しい仕事内容までは知らなかった。学校と家庭を結ぶ仕事をしているのかと初めて知り少し意外な感じがしたが、とてもやりがいのありそうな仕事だと思った	25
		私も社会福祉士を目指す1人です。いろんな分野で活躍されているのですね。これからも特集で取り上げて欲しいです。	25
		私は大学4年の時に福祉士の資格を取得しました。しかし就職は博物館に決まったので資格を使う事はありませんでしたが、この度転職活動中で医療SWの採用を目指しています。この記事を読んでやっぱり医療SWとして働きたいという気持ちが強くなりました。	25
		社会に貢献できる仕事だと思いました。	25
		今でももっていた社会福祉士という職業に対する考え方やイメージががらりと変わりました。社会福祉士と一言で言っても福祉・医療・行政など多岐に渡る仕事の領域があり、国民の様々なニーズに対応できる、また人を支える強きサポーターであることが分かりました。人々の生活を尊重した上で調整し、最適な生き方をサポートする素敵なお仕事ですね。	25
		介護業界に興味はあったので、名前だけは知っていた。多くの人と関わることで社会に貢献できる素敵なお仕事だと思う。	26
		どうせならカラーのほうが目がいくと思います	26
		自分自身社会福祉士として勤務していますが、スクールソーシャルワーカーの仕事については今回初めて知りました。活躍分野が広がっていることは嬉しく感じる一方で、仕事への理解はこれからだと思います。次回は、仕事内容を掘り下げて紹介して頂けることを期待します。	26
		全国で一生涯懸命働いている社会福祉士さんの様子が良く解りました。私事ですが、5年前に社会福祉士を取得したものの現在までその資格を生かした仕事はしていません。そのせいか、せっかく覚えた知識等もすっかり忘れてしまいました。今回の記事を読んで、社会福祉士の必要性を感じ改めて資格を生かした仕事がしたいと思いました。求人があるかどうか調べようと思います。	27
		誰に向けて作られたものなのか。高校生に向けているものなら、もう少し、わかりやすいものが良いと思う。図を取り入れ、中学生に視覚で入るように。また、具体的な就職先を示し、将来を考えられるように。「介護の仕事ですか」という言葉をよく聞くので、介護福祉士との違いを明確に示し、福祉に関する他の専門職も、少し説明することによって、福祉全体のイメージを捉えやすくしてみてもどうか	27
(女性)	29歳以下)	新聞一面に社会福祉士が取り上げられ、嬉しく思った。社会福祉士が、広範囲で活躍できる場ができた一方、職場内での立場、組織など、現状としては不安を抱えながら勤務している社会福祉士も多い。社会福祉士の仕事を根付かせていくためには、あらゆる方面に分布された社会福祉士が集まり、つながる場を作っていくことも社会福祉士の仕事かと思っている	27

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		親友や知人の多くが介護職に就いているため、話だけはよく耳にしていた。相手の立場に立って思いやり、臨機応変に接していかなければならない。私も健康なら福祉の道へも進みたいのだが、腰痛と女性特有の病気で現在は考えられない。ですが、私も病院に通う時間が多く、元気になったらヘルパーの資格を取ることから始めたいと思った。そしていつか夢の社会福祉士に、憧れを届けていただき感謝している。福祉に対し強く興味を持った	27
		社会福祉士よりもソーシャルワーカーの呼び方のほうが、なじみがあると思う。	28
		もう少し高齢化社会に必要な仕事に就く人々の扱いと待遇をよくしないと駄目だと思う。生活の為の現実的な視点も触れて欲しかった。バラ色の理想だけでない就職後の視点も触れて下さい。	28
		社会福祉士と記載されているが、現在の日本では同義語ではないと思う。あいまいな明記はよろしくないと思う。実際の社会福祉士の働きには頭が下がる思いであります。	28
		社会福祉士を学び受験資格はあるが子育てで忙しくなかなか受験できない。今後は資格取得を目指して頑張りたいと思う	28
		いろいろわかって参考になりました。	28
		各方面の方たちの話が載っていて、読んで理解できた。写真の使い方が、広告を明るく読みやすいイメージにしていたと思う。それと写真と全体のデザインが、興味を持たせるようになっていたと思う。その資格が取れる学校まで紹介されていて良かった	28
		せっかくの広告掲載なので社会福祉士会と一緒にすればいいと思った。	28
		参考になった。他の職種も特集して欲しい	28
		長寿社会の昨今ますますニーズが高まる分野。待遇面でも納得の出来るようにして欲しいと思う	29
		社会福祉士が医療、司法、行政にまで幅広く広がっているということを初めて知った。そしてその内容がどういうものかということをおおまかに知る事ができた。私自身、小学校での教育に携わる者として、子どもたちの置かれている環境が多様化し、保護者や地域の方々との関係を築く上でもスクールソーシャルワーカーという仕事の大切さを日々実感しており、その存在に感謝している。同じように医療、司法、行政の分野でも社会福祉士という仕事が欠かせない存在になっていると思う。今後この広告を見た一人でも多くの人が社会福祉士の仕事に興味を持ってくれることを望んでいる。	29
		どんな人が志す職業なのかは感じ取れたが、実際に資格を取得するためにどんな学校に行かなければならないのかや、必要とされる能力をもっと説明して欲しかった。	29
		ソーシャルワーカーが、医療、行政等、色々なジャンルに分かれてサポートしているということを知りました。今後もこの様な特集記事を読みたいと思いました。	29
		祖母がアルツハイマー性認知症と診断されて2年、病状は急速に進行した。もう家出は介護できないと、体力的にも精神的にも追いつめられた。かかりつけの医師や社会福祉士に相談し、デイサービスに通う方法を示唆してくれ、週4回お世話になることになった。孫の私にとってもとても有り難く、また、デイサービスに通うようになると良い刺激を受けて顔に感情が表れるようになった。大好きなおばあちゃんなのでとても嬉しかった。担当の社会福祉士が本当に祖母のことを真剣に見てくれているので安心だ。祖母の老後の人生に深く関わってくれている信頼できる方と出会えて、感謝の気持ちで一杯だ。社会福祉士の方がより一生活躍することを期待している	29
女性	30代	保健や医療や福祉に関する専門職の特集はとても為になる。身近な専門職のことにさらに知りたいと思う。	30
		社会福祉士の仕事が福祉だけでなく幅広く広がっているとは驚いた。現場での声わかり易く書かれており、福祉の仕事をしている私にはとても参考になった。	30
		今私は介護の仕事をしている。ヘルパーの資格を取得する際、社会福祉士についても少し学んだ。将来的には興味を持つ職業になると思っているので引き続き関心を持っていたい。世の中にもっと認知される職業になる事を願う	30
		理学療法士の専門学校に通っている学生です。授業で聞いているSWの仕事をよりよく知ることができてとても有意義な広告でした。様々な人の橋渡しをする大変なお仕事ですが、とても重要で必要なお仕事だと思います。スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの仕事の差異についてもっと知りたいです。	30
		母が介護の仕事をしており、高齢者との交わりがあります。全く福祉に興味が無かった私でしたが、母の仕事内容や福祉関係のボランティアの話を知っているうちに、今の内から接した方が良く思うようになりました。自分の子供にはこのような仕事についてほしいです。	30
		社会福祉士の養成校が増えてきて、社会福祉士の認知度や活躍の場が広がってきた事が分かりました。今後は社会福祉士の権限や設置基準の向上が図られていけば良いと思いました。	30
(女性)	30代)	病院とか施設などで働くと思っていたのだが、こんなに幅広く活躍して、大変なお仕事だと思った。でも生きがいもあると、それぞれの分野で働いている方の言葉が載っていて、よくわかった。いろいろ手さぐりの状態なので、役に立った	30

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		私は、5年間の保育士生活から社会福祉士へ転身して5ヶ月の新米社会福祉士である。この特集を読んで、改めて専門職としての責任を強く感じた。経験を積んで、多くの人の役に立てるよう、これからも頑張りたい	30
		仕事の内容と、実際になるための進学先が一緒に載っていて、活用性の高い広告の仕方だと思いました。	30
		社会福祉士という仕事がどんな仕事なのか、やりがいはどこかが分かりやすく載っており、興味深く読ませていただきました。いろいろな職種を紹介して頂けると嬉しいです。	30
		福祉分野だけの仕事と思っていたのですが教育、医療、司法、行政まで広がっているとは知りませんでした。これからの社会にはなくてはならない存在。待遇面なども考慮しもっともっと多くの人に頑張ってもらいたい職業だと思いました。	30
		少子高齢化社会を迎え福祉の重要性が高まっている。社会福祉士の活躍も重要。こうした方々の仕事を支える行政の役割がますます重要。社会福祉士の方々が自信を持って遂行できる、民間に限らない場を提供して欲しい。	31
		たくさん活躍して欲しい。	31
		よく耳にする社会福祉士。色々な場面で活躍しておられるようですが普段は関わる事がないのでどのような仕事をしているかが少しこの記事で分かりました。病気や怪我以外でもいつかお世話になる時があるのでしょうか。金澤さん、米川さん、都崎さんのお話は勇気づけられる安心につながる内容でした。篠田さんのお話は少し冷たいかしら？でも忘れがちな人任せにしまいそうになる事の危険性が伝わりました。こういう特集はこれからも続けて下さい。お願いします。	31
		教育現場、医療、高齢者施設、行政といった各分野で、専門の社会福祉士が活躍されている事を初めて知った。私自身、出産をひかえており、実家を離れ、県外で暮らしていることもあって、育児にはある程度の不安を感じているが、自治体に育児を専門としている社会福祉機関があるのなら、ぜひ利用したいと思った	31
		良く名前は聞くが、実際どんな働き方をしているのかよくわからなかった。読むと公共や私設などいろんな活躍の場が、今求められていると痛感した	31
		すごく参考になります	31
		自分が患者の家族だった経験からソーシャルワーカーになった人の話が印象に残っています。	31
		注目されつつあるこの仕事の具体的な活躍の場や仕事内容を、実際の職員の話として読めるので現実味がある。また、資格取得が出来る大学の紹介も興味のある人にとっては有効。	31
		大学卒業と同時に社会福祉士を取得しましたが活用できずにいました。結婚退職し、資格を活かして働きたいと思いましたが働く場が増えていると感じる一方で求人情報を探しにくく苦労しました。現在は、生活保護の産休代替職員として働いています。	31
		社会福祉士が様々な領域で活躍していることが判る広告になっていると思う。今後養成校の詳細についても触れる内容のものがあれば社会福祉士への理解も深まり、資格を目指す人が増えるのではないかと	32
		昨年3度目の受験で社会福祉士の資格を取得した。今までは名称独占だったが業務独占までは行かなくても社会福祉の常駐が必要な機関が増える事を望む	32
		私はこの広告を読む前は社会福祉について名前だけは知っていたが具体的な仕事内容までは知らなかった。この広告を読んで詳しく理解する事が出来た。社会福祉士はこれからの社会生活になくてはならない人材だと思う。社会福祉士にすごく興味をもった。広告で紹介されている4人のソーシャルワーカーの姿を読んで、自分も人のために役立ちたいと思うようになった。もう32歳だがこれから大学に行って社会福祉士になって自分の夢を達成するための資格を取りたいと思う	32
		日本は福祉士の役割が分野で期待されると思います。	32
		この広告で社会福祉士というものを少し興味を持ちました。	32
		これからは資格(福祉士)を生かした仕事について頑張りたいと改めて思いました。	32
		私は現在、精神保健福祉士として、精神科病院に勤務している。昨年より、社会福祉士の通信教育を受講している。今回の記事を読みながら、あらためて社会福祉士の仕事の幅の広さを実感した。私も、あらゆる分野に精通する社会福祉士になると気を引き締めることができた	32
		この特集がなければ、資格の名前を知っているだけだった	32
		ソーシャルワーカーって、医療現場とか、入院している人たちの悩みを聞いてあげただけだと思っていたが、時代に合わせ、いろいろな分野でこれから目にし、耳にしていくんだろうなと思った	32
		参考になった	32
(女性)	30代)	私は現在介護職に従事していますが将来ケアマネージャー或いは社会福祉士の資格を得ようかと考えています。ソーシャルワーカーと一言で言っても私達の生活に関わるいろんな分野で活躍されているんですね。学のない私が今から勉強してもどうなのか、いささか心配ですが、目標は高く持って頑張ろうとあらためて心に決めました。	32

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		行政ソーシャルワーカーという職業を初めて知りました。社会福祉士はまだ活用されていない資格だと感じています。福祉職はキャリアアップのお手本が見つけないので、こういう資格がひとつの手段となることを期待しています。	32
		社会福祉士の仕事がこんなに幅広いとは思いませんでした。「社会福祉士」という資格に、より興味を持ちました	33
		仕事内容はわかったが、月の給料はどれくらいもらっているかが一番知りたかった。放職率も知りたかったので、載せて欲しかった	33
		社会福祉士を目指す人のための広告になりました	33
		人の役に立ちたいと思う人が、いろいろな社会福祉の中で頑張っている事がわかった。でも現実的には、どうだろうか。人のサポートというのは、感情のコントロールが難しいうえに、いろいろなケースがあるわけだから、ソーシャルワーカーさん達にも、相手を思う心と、何か、それから得たものの大きさと、心情のコントロールにプラスマイナスの影響はないのだろうか。でも社会全体では、これから先、考えなければならない課題であり、すごく責任重大な仕事なんだと思った	33
		変わる法改正などでますます厳しい業界である。今の現場に必要なものは何かを見て、それぞれの役割を果たして欲しい	33
		社会福祉士が変わるとあるが、どの様になるのかが、よくわからなかった。社会福祉士の仕事をされている方の内容も漠然としていて、行政、高齢者、医療、子供に関わるソーシャルワーカーの方がいるという位だった	33
		今回の特集のように、名前だけ知っていても、その内容がわからない事がたくさんあるんだと改めて実感した	33
		私は社会福祉士と精神保健福祉士です。福祉関係内でも、仕事の内容が不透明で何をやる職種か知らない人も多いので、今後も記事などで取り上げて頂きたいと思います。	33
		社会福祉士の活躍の場が広がっており、教育現場でも活躍の場が広がっているのは驚きました。今度は、介護福祉士の特集もしてください。	33
		各分野で幅広く活躍していることがわかった。人々の人生を長期に渡って見通せる職業だと感じた。	33
		現場での役割等をもっと皆に理解していただき、これからの高齢化社会にもっともっと活躍できるようなアピールをしてほしい	33
		多方面での活躍がこれから期待できる仕事だと思いました	33
		ソーシャルワークの場合、法律や制度が変わることで大きく振りまわされることになるという側面を、資格を広める事だけではなく伝えて欲しい。国が福祉にかかる予算が上がらない限り、良質なソーシャルワークは見込めないと思う。	34
		大学の社会福祉学科を卒業し社会福祉士の国家試験を受験したが不合格だった。あきらめようと思いついたがこの特集を読んで合格するまで頑張ろうと思った	34
		介護福祉士は知っていたが、社会福祉士と言う名前は大きかたで仕事の内容までわからなかった。ここに載っている以外の仕事も多くあるかと思うが、こんなことをしているんだということを知る入り口になった。私が働いている飲食店には昼休みに市役所の方が沢山来店する。福祉系部署に希望して配属になる人はほとんどおらず、辞令でしかたなく来る人がほとんどだと耳にしている。日本の福祉の底上げのためにも専門職としてがんばってもらいたい	34
		私も社会福祉士の資格を持っている一人です。現在も社協で働いていますが、とても誇りのあるやりがいのある楽しい仕事です。他の皆さんの例もとても分かりやすく良かったです。	34
		よく知っているつもりが、また”知る”ことになり、新しい発見もありました。母が関係している施設の方々を見る目が変わりました。(もちろんいい意味で)	34
		スクールソーシャルワーカーのこれからの活動において、とても大切に私も思う。私にも中2の息子がいるが、福祉にかかわる仕事について、祖父や祖母を大切にしたいと言っている。私も息子と一緒に勉強したいぐらいだ	34
		社会福祉全般を広い視野でとらえていくことができる貴重な資格だと感じた	34
		社会福祉士にもいろいろな種類があることがわかって勉強になった。これからどんどん人材が必要になってくると思う。	34
		社会福祉士の人たちが、様々な人との潤滑油になって手助けされている様子が分かりました。	34
		一言で社会福祉士といっても活躍の場が広がっていることがわかり、勉強になりました。	34
		数年前に社会福祉士という仕事の名前を知りましたが、当時よりも仕事の幅がずいぶん広がったのだと感じた。これからの社会にますます必要な仕事ですね。	35
(女性)	30代)	私は介護福祉士、介護支援専門員の資格取得後、社会福祉士の資格を得ました。職域が広がったとはいえ、社会的認知度や地位はまだ低いと思います。大勢の目に留まる新聞の紙面広告はPRに有効だと思います。	35
		社会福祉士とソーシャルワーカーが同一だったと知りました。	35

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		発達障害の我が子は1クラス40人の教室で過ごしています。担任の先生も気をかけてくれていますが、スクールソーシャルワーカーの方がいてくれると子供も親ももっと安心できると思います。大変な仕事とは思いますが、早く全国に普及することを願っています。	35
		社会福祉士への道へ向かう若者とくに男性が近年多くなってきているが、もっと報酬面をよくしないと満足して働けなく、もっと人材不足な職業となるのが目にみえている。	35
		一口に社会福祉士といっても色んな活動内容があることがわかった。親身になって接して頂けることを願いたい。	36
		こんなに色々な大学で社会福祉学部が有るのに現場には人がたりないのか。	36
		福祉関係の仕事をしている者にとってはソーシャルワークは耳慣れた言葉だが一般的にはまだ認知されていないのが現状と思う。広告に意外と専門用語が多いので広告といった意味では難しいものになっているのかという印象だ。福祉士向けの広告なのか福祉を知ってもらおう為のものかあいまいだった。様々な分野で福祉士の方々が活躍されている事はわかり勉強になった	36
		私は医療に従事しているので良く知っている職業だが世間にはまだまだ知られていないと思う。しかしとても重要な役割を果たしており世間に浸透しより良く必要としている人に必要なケアが提供できるようになれば良いと思う。社会福祉が変わる。目を引く問題だ	36
		このような資格があり その業務の内容が理解できました	36
		社会福祉士の仕事や役割など、一般的にはあまり理解されていないように思います。私たち生活者が気軽に相談できる場と時間を提供していただくなど、もっと身近な存在であって欲しいと思いました。	36
		あらゆる場面において、社会福祉士という立場の方が必要であることを改めて感じた。高齢化が進む中、ますます期待が高まってくると思う。もっと社会福祉士という職を若い世代にも知って欲しいし、アピールしてってもらいたい	36
		社会福祉士という仕事があることを全く知らなかったので、大変勉強になった。甥と同居しているので、スクールソーシャルワーカーの仕事にとっても関心を持った。家庭と学校との連携ではなかなか行き届きな所があるので、ソーシャルワーカーと家庭と学校で、子供達が健やかに成長できる環境作りのお手伝いをしてもらえたらと思う	36
		自分が学生の頃は、社会福祉士は福祉施設の中で現場を供にするようなイメージでした。現在スクールワーカーや高齢者の方にも社会福祉士という方の存在があったという事が分かり、自分も勉強してみたいと思いました。また、通信制や取得方法(社会人)など記載して頂ければ有難いです。	37
		現在保育士をしていますが「社会福祉士」について勉強しようと考えていた矢先だったので、とつてもためになりました。頑張る「社会福祉士」になりたいと思います。	37
		今注目されていますね。これからますます福祉が増えそうですね。	37
		子育てが落ち着いたら、考えてみようかと思った	37
		もっか国家試験受験のための単位取得中である。社会福祉士として基礎知識は必要だが、ある程度社会経験をされたことのある方が、問題の本質を真に感じることができる職業だと思う	37
		社会福祉士の仕事内容に幅があることはわかったが、その職業に就くためにどうすればよいのか、また、職場はどのような所になるのか、まとめて示して欲しい	37
		私は看護師で、現在ケアマネをしており、さらにキャリアアップのため社会福祉士の資格も取った。苦勞して、通信の福祉大学に編入してとつたが、いままで何も得になつたことがない。問題は医療と福祉の連携が必要といわれているにもかかわらず、不十分だからだ。医療の現場でも社会福祉士が認められると、(たとえば、メデイエーターのような役割を得るなど)医療職へのキャリアアップの資格の一つとなり、受験しようとする人が増えると思う。	37
		社会福祉士がこんなに多くの職種に関わる大切な仕事とは知らなかった。学校、病院、介護老人施設、行政、とどれにとつても重要な仕事なのですね。それら個々に、別々に別名の資格が与えられても良いくらいの重要度と専門性があるように思う。人と人とのつながりが希薄になっている世の中、ますます社会福祉士の活躍が期待される	37
		具体的にどんな仕事をしているのかわからない。	38
		「社会福祉士」という福祉施設の職員や生活保護のケースワーカーというイメージがあったが、教育や医療など様々な活躍の場面がある事が分かった。	38
		社会福祉士養成のための大学がこんなにたくさん有るとは知りませんでした。	38
		社会福祉士は医療に関する仕事だと思っていましたが、ほかにも学校や行政など活躍の場が幅広くあることがわかりました。	38
		面白くない	38
		まじめに養成を終えた人が、やりがいを実感できる場が得られることが望ましい。	39
(女性	30代)	社会福祉士になる為にはどのような勉強コースがあるのか記載してあるとよかった。各大学の所在地が記入されていれば検索する時に選びやすいのではないかと思った。	39
		子供が登校拒否気味になり、スクールカウンセラーの方にお世話になった時、救われた思いだった。自分も人の役に立てたらと思っていた時だったので、光が見えた気がした。大学にいけば道がひらけるのでしょうか。大変興味を持てた。	39

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士の仕事は人を思いやり支え助ける事で高齢化社会進む中その重要性はますます高まると思った。また社会の多様化複雑化に伴い、スクール・医療・行政ソーシャルワーカーと必要が増大していき社会のニーズに必要な高度な知識も必要になると思った。そのためには社会福祉士養成学校で高度な知識と技術を学んで国家試験に合格して社会に貢献してもらいたいと思う	39
		何が変わるのかは判りにくかったが社会福祉士にもいろいろな種類があると知った。これから必要な人達は多くなると思うので頑張りたい。若い人達が目指したいと思ったら良いと思う	39
		社会福祉士と言う仕事にいろいろな種類があることがわかった。とても勉強になった	39
		ソーシャルワーカーにもいろいろな分野があり、また社会福祉士がソーシャルワーカーとは今まで結びつけて考えたことがありませんでした。勉強してとれるものならとってみたい資格だと感じました。	39
		名前は知っていてもなかなか知らないことも(中味・内容まで)多く、こんな職業や研究している人がいるのかとテレビを見ていて思います。いろいろな仕事を載せてほしいです。	39
		私の友人でも介護福祉士の資格を持っている人がいますが、社会福祉士の事は全く知りませんでした。子供にも関係のある事がわかってとても良かったと思います。	39
		今後さらに人材が必要になると思うので若い人達に学んでほしいです。	39
		社会福祉士の内容を知り相談にのっていただき生活していきたいと思います。	39
		病院や施設で勤務していたので、知っていたが、学校にまで場が広がっているとは思わなかった。しかし、考えてみれば、いろいろな手助けをたくさん知っているのも、もっとも身近になって、多くの人の支えになるよう、知名度、理解度が向上することを願う	39
		自分自身も資格を取り、子供からお年寄りの方々の心の拠り所になりたいと思いました。本当に必要な人に必要な情報が発信されているのか？ご相談に来れる方は良いが現在ご高齢の方は「人に頼ってはいけない」という美德をもってなかなか相談できず一人で悩まれているかもしれない。地域コミュニティが崩壊している中、逆に地域活性化の契機となるよう社会福祉士の方々が活動できれば良いのでは？と思いました。	39
		社会福祉士・・・といっても、いろんな分野があることをはじめて知りました。	39
		医療現場の惨状を考えると、3年前に父を亡くした者として何か役に立ちたいと考えて、(医師・看護師は残念ながら厳しいので)社会福祉士で心理的サポートが出来たらと考えてましたが、情報の少なさ、社会での認知度の低さに二の足を踏んでいました。こういったキャンペーンが展開されてもっとこの仕事の必要性が社会に認知されてほしいです。	39
		もっと詳しく社会福祉士の資格の取得の方法などがあればいいと思いました。	39
		知らないことがわかるので楽しいです。	39
女性	40代	主人の両親が元気なうちにもしもに備えてヘルパーの勉強を始めました。その中で恥ずかしながら”社会福祉士”なる存在を初めて知りました。ソーシャルワーカーという言い方は福祉行政で耳にしたこともありましたが、同じだったんですね。色々必要とされる分野がありますが、育児中の身にはやはり何かとややこしいことも多いです。学校現場にスクールソーシャルワーカーの存在が増えることを期待します。先生方では手に負えない部分まで背負わされているのを、PTAとして学校に関わり、見てしまいました。皆が少しでも良い生活を送れるように。	40
		社会福祉士という名前は聞いた事があったが、どんな仕事なのかはよく分からなかった。この記事でいろいろな環境の中で、必要とされている大事な役割なのだを知った。人と人との間が殺伐とした世の中だからこそプロの方々へのアドバイスが必要だと思う。	40
		「社会福祉士」の特集というのは珍しく、目をひきました。様々な分野のソーシャルワーカーが登場したので幅広く活動している事が良く伝わりました。タイトル横の写真はイメージとしては理学療法士や介護福祉士や教師に近いと思いますが、社会福祉士の活躍している分野のイメージとしては良いと思いました。(「相談」を写真で表すのは難しいですね)	40
		3年前までだったら社会福祉士の事を考えた事ありませんでした。父が介護を必要となり色々介護に疲れ「ソーシャルワーカーがいればこんなに助かるか」と思う毎日です。田舎なもので都会ほど行き届いていません。どうにか福祉が変わらないかと思えます。	40
		医療ソーシャルワーカーは聞いたことがあったが、他は知らなかった。これからの時代、とても必要だと思う	40
		もっといろいろな医療、福祉系の仕事を知りたい	40
		社会福祉士がこんなに活躍の場所が広がっていることをこの広告で知りました。資格をとってみたいくなりました。司法の分野での活躍についても知りたかったです。	40
(女性	40代)	とても責任感が要る仕事だが、これから需要があると思った	40
		これからの必要性がよくわかりました。	40
		スクールソーシャルワーカーにとっても興味を持った。子供たちの将来の職業の選択肢として話して聞かせたいと思った。	40
		17歳の娘が児童福祉士をめざしており、進路を検討中だ。参考にさせていただいた	40

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		養成校へ入学するための方法が色々あると思う。入学資格や介護福祉士を経験してからの方法など、本人に合わせた道を教えてくれる期間はあるのか？今年の試験日など、発表はインターネットでの情報収集しかないのか？	40
		ソーシャルワーカーの具体的な仕事内容は今一つピンときてなかった。保健婦さんという印象が強かった。福祉の内容が多岐に渡るようになり、ソーシャルワーカーが重要になってきたのですね。息子も福祉の道へ進みたいようなので、ソーシャルワーカーの社会的地位の向上と生活の安定が向上すると良い。	41
		広告内容は悪くないと思う	41
		社会福祉士と一言で言ってもいろんな場所でタイプ別に活動されているのだと思いました。将来的に職業として考える方々にはこのような広告はもっと必要だと考えます。	41
		社会福祉の役割はこれからますます重要になると思われるのに、社会での認知は遅れているように思います。今回のような広告はとても有意義です。	41
		社会福祉士の必要性があまり感じられないので(ケアマネなど新しい資格が多く、この資格だからという意義が感じられない)、受験資格があっても受けていませんでした。もっと社会福祉士を持っているからという意味のある資格でないと国家資格として必要無いものになると思います。努力しても報われないようなものにならないようにしてほしいと思います。	41
		大まかな事がわかったので、もっと詳しく知りたくなった。今後、ニーズが増すのではないかと思う	41
		大変分かりやすい記事なので、中学3年生の娘にも読ませたいと思います。こんな職業もあると、将来を考える参考にして欲しいと思います。	41
		ここ最近若者の福祉離れに拍車がかかっていると聞くが、そういう意味で本広告は有効だと思う。ぜひ現場の声を載せた広告を今後も掲載して欲しい。	41
		娘が、社会福祉士になるかどうか迷っているのので、この広告を見せてみます。	41
		もう少し詳しく知りたかった	41
		社会福祉士は国家資格なので尊敬している。これからますます社会福祉士の活躍の場が広がってくると思った。よりよい社会にするために素晴らしい社会福祉士がどんどん増えて欲しい。医療と高齢者と行政と、それぞれ分かれていることも初めて知った	41
		社会福祉士というものがどういう仕事内容で、どんな場面で活動しているのか、それぞれの立場で考えどう実践されているかが紹介されていてイメージしやすく、自分の日常と結びつけやすかった。	42
		社会福祉と聞いてもどんな仕事かすぐピンと来なかったが医療ソーシャルワーカーの方の話を読み、昔、父の入院の際にお世話になったと思い出した。不安と病院へのひそかな不信とで疲れていた時に話をできたのが優しいソーシャルワーカーさんだった。福祉が軽んじられているとしか思えない今の政治。現場で汗水流して心を砕いて働いている方の立場が向上することも必要だ	42
		何が変わるのかと思い読みました。一般的なコミュニティの図(イラスト)などを入れてもらえると内容がよりよく分かると思います。今後もより良い広告特集を期待しています。応援しています。	42
		今後も色々な職業を特集してほしい。	42
		今の時代大切な仕事だと思います。長男が福祉の学校へ通っています。頑張ってくださいと思います。	42
		私自身が「福祉士」資格保持者ですのでこの記事を読む気になりましたが、それでも斜め読みでした。知名度は低い資格だと思います。現職は企業勤務ですので全く携わっていません。前職を聞かれてもうまく伝えられませんが、紙面上の笑顔は10個の苦難(職員間の人間関係含む)を乗り越え、1個の充実感を得た時だけだと思います。私は現場に戻る勇気はありません。苦言を申し上げますが、残念ながらこの記事を参考にする人はいないような気が致します。	42
		あまりなじみのない資格だが、これからは生活の色々な場面で活躍してゆくだらうと感じた。もっと沢山の方に認知されて欲しいとも思った。	42
		この広告を見て、私は、もっと若かったら勉強してこういう仕事をしてみたいと思った。子供にすすめてみたい	42
		現在、社会福祉士の方が社会で活躍されているが、今後、もっと活躍していただきたいと思う	42
		色々学校の紹介もありましたが、大学行かずに資格が取れる方法があればその道も、紹介してほしいです。近くの大学があったので問い合わせしてみます。	42
		社会福祉士という仕事の内容がよくわかった。国家資格であるのも初めて知り、幅広く必要とされている資格ということがよくわかる広告だった。	42
(女性)	40代)	ソーシャルワーカーと社会福祉士が同じだなんて普段ちっとも気づいていなかった。またその仕事が多分野へ広がっていることが分かり、この特集を読んでよかったと思う	42
		社会福祉士にいろいろな職種があることを知った。きめ細かい配慮と温かい心を持ちながら仕事されている印象を受けると同時に、とても期待している。母が祖父母の介護をしており、今は落ち着いた状態だが、いつ事態が変わるかとても心配。近くに信頼できるソーシャルワーカーがいて相談に乗ってくれることを願っている。	43

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士と言っても色々な種類があることを知った。身近にいる福祉士さんは若い人ですが、利用者に対して上から目線なのでガッカリ。勉強、勉強で思いやりなど学ばずに資格を取った人が中にはいるんだと思った。	43
		社会福祉士については知らなかったが良く判った。その重要性を訴える広告、記事を今後も期待したい	43
		娘が社会福祉士になるための大学に今年入学しました。娘は資料を読んだりしながら、社会福祉士の仕事を理解していましたが、私はなんとなく輪郭はつかむ事ができましたがよく理解できませんでした。この広告を読むことによって色々な分野で活躍している人の話が載っていることにより具体的に理解することができました。	43
		good	43
		相手が子供だったり、介護する側、される側、いろんな立場の担当の方々の意見で、どれ一つとっても、過去に前例のない、まさに十人十色の生活をサポートしてあげる仕事だと思った	43
		小3、小5、中1の子供がいるので、スクールソーシャルワーカーの存在は知っていたが、細かい内容までは知らなかった。この広告で理解できた	43
		子供の学校にもソーシャルワーカーの先生が来られていたが、ソーシャルワーカー = 社会福祉士とは知らず、驚いた。別々の資格だと思っていた	43
		ソーシャルワーカーを社会福祉士と呼ぶことを初めて知った。また、医療ソーシャルワーカーの他にもそれぞれに専門のソーシャルワーカーがいることも知ることができました。	43
		具体的な就職方法が知りたい。	43
		10歳の頃から難病を患い、病気の心配から1人私立の中学校に入ったが、いつも健康な同級生と病気の自分を対比させ、「体力的には劣っていても勉強では絶対に負けない」と意固地になっていた。思春期特有のプライドもあり、家族にも友人にも学校の先生にも医者にも相談できず、誰にも私の気持は分からない、誰も私を認めてくれない」と学校帰りの公園でブランコを1人こぎながら泣いていた学生時代を思い出した。今はあの頃の私のような状況の子供達にスクールカウンセラーがとても大きな役割を果たしているのだと、とても嬉しく思った。応援している	43
		社会福祉士とは、どちらかというが高齢者福祉の分野というイメージでいました。それが教育医療・障害児と多方面の顔を持っていることに気づかされました。国家資格というこや私学が熱心ということを知りました。	44
		社会福祉士 = ソーシャルワーカー。なかなか日本語と英語が繋がらなくて、やっと理解出来たように思えます。今後は仕事内容の理解に努めたいと思います。今後はもっと必要とされるでしょうから。	44
		医療事務の仕事をしている。田舎の小さな病院には、ソーシャルワーカーなどおらず、私たち事務の者が、患者さんの相談に答えるのが現実である。この広告で、どうしたらソーシャルワーカーになれるのか、専門の学校に行く以外には方法がないのかなども教えて欲しかった	44
		大学受験する子供とじっくり読んだ。学校での受験情報は、偏差値、取れる資格、受験日などで、本人がやってみたい仕事のヒントにはなり得ない。社会で働いている声は、進路選択を考える高校生には、とても役立つと思った	44
		社会福祉士の仕事内容を考えると、今後はもっと、手厚い収入が受けられればいいのにと考える	44
		どういう制度が知らない人にわかる言葉で、その人にとって有益な情報を伝えてくれる人の代名詞であって下さい。	44
		10年前に、ソーシャルワーカーと言う職種があり事を知りました。母が入院して母一人子一人でどうしたら良いか判らない中、親身に対応して下さいました。この記事を読んで、その時の自分の気持ちがよみがえり、改めて感謝の気持ちと、これからもっともっと福祉について知りたい思いになりました。	44
		具体的に仕事の内容が分かりとてもよかった	44
		知り合いの方がソーシャルワーカーの方にお世話にあっていることは聞いたことがある。でも色々な分野のソーシャルワーカーがいるとは初めて知った。今は人ごとのようだが、私もいつお世話になるか分からないので、まず最初にどこに相談し、どのように対処すべきなど、今から色々知っておくべきではないかと思った。	44
		娘が脳性マヒで介護福祉士さんにお世話になっている。大変な仕事なのにいつも笑顔で迎えてくれます。自分の仕事に誇りを持っているからだと思う。社会福祉士を目指す方が増える事を願っている。	45
		社会福祉士といっても専門的に何を扱うかで様々な職場があることが判った	45
(女性	40代)	ヘルパー2級の講座を受けたので、興味をもって読みました。熱意をもって仕事をされている様子は伝わりましたが、若い人に興味と関心をもたせるという紙面にはほど遠く、もったいなく思いました。	45
		分かりやすく載っていて良かったと思います。	45
		現在養成校に在学中の人ほど将来像を描いているのか知りたいです。	45
		これからの子供達に学んでもらいたいです。	45

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士も言葉を知っているくらいでしたが多方面で活躍されている事が分かりました。	45
		以前から首からくる原因で少しずつ歩く事が困難になり車イスを使っていた義父が転倒した事により、介護施設のショートステイを経て3ヶ月間の期限付きで病院に入院した。介護施設は入所が400人待ちという状態で3ヶ月経てば家で生活が余儀なくされる。義父義母の生活をそばで見ていて、理想と現実のギャップはあまりにも大きいと感じた。老いは誰にも必ずやってくる。4人のソーシャルワーカー達の熱い言葉は未来の社会福祉士を目指す若者達や私達中高年の希望となる事を願います。弱い者が生きる事を投げ出さずに歩いていける社会に少しでもなっていて欲しいと思います。	45
		周りに社会福祉士が多くいる環境の中で働いているのでだいたいの事は知っていました。私自身学生の頃社会福祉を学びましたが、都崎さんと同じく当時この資格がありませんでした。あれば絶対取っていただろうし今でも非常に興味があります。今後も学び続けていつかの資格を取りたい、取れるといいなと思っております。	45
		今の時代、人と人とのつながりがなくなっているため、その間をとりもち、いろいろとサポートしてくれるありがたい職業だと思った	45
		平成20年度介護福祉士を受験する私にとっては、社会福祉士は未来の目標である。人々すべてが、人間らしく生活できるようになればと思う	45
		社会福祉士が、学校・医療・高齢者施設・行政など、様々なところで仕事をされている事がわかり、とても興味をもった	45
		社会福祉士としての活躍の場や、仕事に対する熱意を感じました	45
		スクールカウンセラーの充実を願っています。	45
		参考になった。	45
		興味がある	45
		社会福祉士の社会的認知度が上がり、業務独占化による専門性の向上が実現することを希望します。	45
		この仕事の社会における重要性・大切なことがとても分かりやすく説明されていて読み応えがあった	45
		ソーシャルワーカーが司法や行政面にまで広がりを見せていることに驚いた。行政でソーシャルワーカーとして働いている方は、最初に国家資格をとってから地方公共団体で採用されたのでしょうか。専門職として必要な仕事が出来ると思う。学校の現場では教員達は助かると思う。以前勤務していた小学校で、登校拒否の児童の対応に悩み、他の子に迷惑をかけてしまっていた。その事を考えるとスクールソーシャルワーカーは重要な役割を果たせると思う。	46
		今後、広い場での活動が必要とされる事と考える。人の支えになる仕事は大変喜ばしく、理想と考えている。	46
		学校や病院、行政などで活躍する社会福祉士という職業は憧れでもあり、いざという時に頼れる存在だと思う。人と人をつなぐ大切な役割を頑張っている方々を尊敬する。	46
		これからの時代、社会福祉士の仕事が特に重視され必要になっていくと感じた	46
		4月まで、私自身も福祉の現場にいましたが同僚でさえ、この社会福祉士という仕事をする人がいるということを知らないのを知りました。この現実があるということは社会にはいろんな仕事があるということ(特に福祉関係は)もっともっとアピールした方がいいと考えます。この広告とてもいいと思います。	46
		知らなかったことがわかりよかったです。	46
		有料老人ホームのフロント係として主に元気な人達を対象に相談にのったりする仕事をしています。大学で福祉学科を専攻していたのでごく役に立っています。相談員の資格はありますので今はケアマネの試験を今年受ける予定です。将来的に2つを持っていれば仕事をする上でごく有利です。広告に載っていた様に仕事の幅も広がると思います。またこの様な特集してほしいです。	46
		以前から「ソーシャルワーカー」という名称は知っていましたが、今年娘が大学入学し「社会福祉士」の国家資格を将来取ると話をしました。だから余計にこの広告目に付きまして。ソーシャルワーカーの中でも教育・医療・司法・行政の分野へ広がりがあるという事は、細やかなところまで相手を見る、話し合う必要があるという事だと分かりました。「心の時代」と言われていますが、ますます大切であると感じました。	46
		もっと具体的な仕事内容、資格をとる道を知りたくなった。養成校に入学しないとできないことなのだろうか	46
(女性)	40代)	興味深い内容で、分かりやすかった。	46
		必ずしも広く認知されていないこの職業の存在を広く周知徹底されることを希望します。	46
		社会福祉士にも色々な分野があることを初めて知りました。	46
		若いソーシャルワーカーの活躍に期待しています。心の触れ合いが希薄になっている現代社会に於いて今後ますます需要が求められる仕事になってくるでしょう。	46
		社会福祉士の将来がいろいろ判った	47

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士を目指して勉強しているが実際の現場実務などはわからなかった。この記事を読んで内容的な事が理解でき意欲が湧いてきた	47
		社会福祉士と一口に言っても広告にあるように4種類も分野があることを知った。今の時代心の健康を保っていく事は体と同様大事な事だ。強い動機があった4者の想いが文章から汲み取れた。子供にも読ませたいと思った	47
		私自身福祉関係の施設で仕事をしているが、ソーシャルワーカーの人々の仕事を身近で見ているが地味ながら大変な仕事だと認識している。たまたまそのように感じる距離にいたわけだが、そうでなければ漠然とした存在意識しかなかったかもしれない。そう言う意味では今回のこの大々的な広告はとても良かったと思う。皆様にも知ってもらいたい。	47
		これからますます重要性の増す分野の仕事だと思いました。	47
		具体的な仕事内容は良く分かりましたが実際どういう手順で資格を取る事が出来るのか示してあれば良かったと思います。	47
		ソーシャルワーカーが広く活動している事を知った。その人の生活、人生をしっかりと入れ、その人らしく生きられるように、サポートしてくれる大切な仕事、大変な仕事だと感じた。私たちが気兼ねなく相談できるように頑張ってもらいたいと思う	47
		高齢者の方で介護認定を受けていない方が相談する所が分からず困っている方が沢山居られます。このような方々もおられるということをもっと広報や病院などを通じて知らせていただきたいと思ひます	47
		ソーシャルワーカーという言葉は知っていましたが、それが社会福祉士のこととは知りませんでした。いろいろな分野があるんですね。	47
		私は2級ヘルパーの免許を持っていますが自分の子どもには社会福祉士の勉強をしていってもらいたいと考えています。これからは高齢者の時代と言っても過言ではないと思われまふ。そして一生の仕事に選んでも良いのが社会福祉士です。資格は持って損にはなりません。	47
		現在、老人ホームで事務関係の仕事をしているのでとても参考になりました。	47
		三女の愛娘が将来の進路先として目指しているの、是非夢をかなえて欲しいものです。	47
		これからの福祉についてよく理解できた	47
		ソーシャルワーカーというのはよく耳にしているが、具体的にこうした形で色々な分野で必要とされる仕事であることが分かった。子供に関わる仕事をしているが、今は子供だけでなく親やその地域を含めて色々な面に目を向けていく必要があり、仕事の幅も要求されている。キャリアアップの為にも、難しいと思うが、社会福祉士の勉強をしてみたいと思った	47
		日頃耳にはしている社会福祉士という仕事について、初めて具体的に内容を少し理解できた。福祉に関連した仕事等、世の中に浸透するように今後も企画をお願いします。	48
		社会福祉士という名称もソーシャルワーカーという言葉もまだまだ世の中には浸透していないと思う。人の役に立つためにはまず誰にでもわかり易い高齢者や障害者でも覚えやすいシステムなり呼称なりを考えて広めて行く必要がある	48
		私自身障害児教育方面に進みたくて児童学を学んだ。当時は福祉学を学べる大学が少なく卒業後の就職先も今程数多くなかった。幸い私は県の福祉職として就職できたが、今のように沢山の学校があり、就職の幅が広がってきたことを嬉しく思う	48
		「問題を解決するのは本人」身にしました。	48
		この広告を読んで、もっと詳しく知りたいと思った	48
		いろいろな働く場ができていんだなと嬉しくなった。社会の中で、どんどん活躍してもらいたい	48
		なにか困りごとがある際に最初の窓口となってくれるのがソーシャルワーカーであるということがわかるようになっていてとてもいい広告だと思いました。	48
		これからニーズが多くなる職種だと思いました。	48
		私もこれからヘルパーの仕事に就く予定なのでとても参考になった。今後もこのような記事を期待している	48
		対談による公開講座を開いていただければ、よりわかり易いと思った。	49
		今までのカウンセリングが専門分野に分かれ、よりその人の立場になり考えてくれる頼りになる人達だと思う。やりがいのある仕事ではないでしょうか。	49
		具体性が足りない気がした	49
(女性)	40代)	特養老人ホームで介護の仕事をしている。福祉、医療に関するいろいろな職種の人々と関わりながら仕事をしている。20代の若い人も多く仕事をし、社会福祉士を目指している人、今年度取得した人など皆頑張っているが、なかなかその資格を活用し活躍しきれない場面も感じている。福祉に全く関係していない人は理解や知識が全くないと思う	49
		学生達が職業を選択するときの参考になると思う。大変良い。	49
		ワーカーさんに接する機会がないとワーカーさんの大切さが知られないと思います。ですのでとてもよい広告だと思ひます。もっとワーカーさんの活躍の場が広がる事を希望します。	49

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		私は少し前に難病になり長い入院生活を送り先生・看護師さん・色々な人達にお世話になり無事退院出来ました。退院後も不安な毎日で精神・心のケアが必要だし大切だと思います。元気になればボランティア行ければと思っています。	49
		社会福祉士の仕事がどんなに重要な仕事かわかったような気がする。私は、ケアマネージャーをしているが、ぜひこの資格を取り、もっと自分らしい生活ができるように、支援できればと思う。少しでもクライアントの役に立ちたいと思っている	49
		社会福祉士という名前が、かたいイメージを感じるので、親しみを感じて、わかりやすい名前にしてはどうだろうか	49
		高齢化が進む中、社会福祉士の果たす役割は大きいと思う。また、昔と違い地域の結びつきが希薄であるため、子供たちや障害を抱えた人たちにとって、よき理解者になる存在だと思う	49
		日常生活において、お力、お知恵をお借りしたいと思いつつも、なかなかというのは、偽らざるところである。本当に困っていても、なかなか利用できない。一方、福祉士の方からは、労働に見合わない賃金・条件等の不満の声がこちらに届くことが多く、何となくすっきりしないのが本音である。もっと、お互いみんなで、より良い歩み寄りが必要だと思う	49
		社会のみんなの各々の悩み、困り事、心の問題に関わる社会福祉士の仕事を、新聞広告を通じて世間に広めた。分かりやすく説明して「こんな事をしてくれる人たちがいますよ」と伝える良い広告だったと思う。これからの社会、きめこまかな人と人とのつながり、色々な年代の人が必要としてくる事を助ける仕事だと思う。必要としている人にすぐ対応できるようにもっと広告していってほしいと思う	49
女性	50代	通信教育で受験資格まで取ったのに家庭事情で本試験を受けるのを中断した。残りの人生で果たして再チャレンジできるのかわからない。合格率の低い難しい資格なので社会福祉士の資格を持つ方には是非広い分野で活躍して欲しいと思う	50
		今、介護福祉士を持つケアマネージャーとして働いている。今後社会福祉士の資格も取りたいと勉強する気になった	50
		社会福祉士になるためにはどんな学校に行き、どんな資格を有するのか知りたいと思います。社団法人日本社会福祉士養成校協会の案内でよくわかりましたが、一般的にはあまり知られていないので情報が欲しいです。	50
		ストレス社会の今の世の中、1人でも多くの人を社会福祉士の人達の手によって助けてあげてほしいですね。若い人達の力強い頑張りを期待しています。	50
		社会福祉の勉強をしていたので興味深く読みました。活躍の場が広がる仕事と思います。	50
		人に貢献したいなら、社会福祉士という仕事は、とてもやりがいがあると思う。でも、具体的にどんな活動をしていくのかがもっとわからないと、今から将来の自分を考えている若者に、選択の機会がないように思う。今回の広告は、社会福祉士を理解するきっかけになったと思う	50
		行政や福祉・医療の専門的分野においては、社会福祉士の役割や位置づけは知られているが、広い意味で、世間一般では、まだまだ浸透していないのが現実である。社会福祉士の必要性は大きいと思う。早急にその役割と活用を多くの人々に知ってもらうことが大切だと感じる。共に、トランスミッションの役割を行う人間の存在も、もっと有効的であるべきだと思う	50
		以前、母が入院し、3週間ほど過ぎ、退院を迎えた。その際、ソーシャルワーカーの方が、それはそれは熱心に、母と家族の話を聞いて下さり、皆にとって、どうやっていく事が幸せであるかという道しるべを一緒に見つけていただいた。今も、その方の温かい笑顔と語り口が忘れられない。これから、たくさんのソーシャルワーカーが誕生されることを願う	50
		ソーシャルワーカーも社会福祉士も名称としては知っていたが、両者が同じものであり、医療以外にも様々な種類があることは、今回、初めて知った。医療ソーシャルワーカーについては、以前から知っていた	50
		それぞれの異なる立場での仕事内容を紹介されており、多様な仕事であることを理解した。一時は消えてしまった社会福祉士への熱意が、再びわいてきた	50
		社会福祉士といってもいろいろな仕事があるんだと初めて知りました。	50
		中年真っ盛りの50歳。この年になって社会福祉士をめざしている。老人介護の仕事が続けてきたが、ふと我が道を考え、もっと広い意味で弱い立場の人に何か力になれることはないか、とずっと考えてきた。この広告では、まさにそういう方達が一生懸命自分の道を模索しておられ、強く共感した。「自分でも何かできるのでは」と感銘を受けた	50
(女性)	50代)	十代の方々にとって働いている方の掲載と社会福祉を学べる大学と一緒に載っているのが、将来の志望校や就職の選択に役立つ特集だと思う。これからも様々な職業をとり上げて欲しいと思う。	51
		子を持つ母の立場から、母を持つ子の立場からと色々お世話になる仕事。子供が将来付く仕事の選択の一つとしても良いと思った。	51
		社会福祉士について勉強が出来ました。	51
		社会福祉士と介護福祉士の区別・違いがよく理解出来た。(混乱していたのが大きく取り上げてくれたので良かった)。高齢化の中で私自身に第2の学ぶ希望を与えてくれました。(養成校紹介はよい)	51

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		子育てに一段落つきそうなので、50歳を機に介護の仕事に転職した。3年後に介護福祉士の資格とともに、できることは何でもしたいと思っている。社会福祉士の資格もあった方がよいと思っていたところに、この広告が目にとまった。大変参考になった	51
		前から社会福祉士について興味があったが、内容まではよくわかっておらず、新聞広告を見て、様々な職場で活動されている事がよくわかった。今後、多くの方が関心を持ってくれたらと思う	51
		何事も表面はいいことばかりだが、問題になっている現状や、身近なわかりやすい(よく現在あることや、多い問題等)ことを載せることで、目を通す人も多くなるだろうし、関心が持てるのではないかと思った	51
		こんな仕事をしてるのかと引き込まれてすべて読んだ。	51
		娘が福祉大学で社会福祉士をめざし勉強しています。今回の記事で、社会福祉士の必要性、重要性、やりがいを感じられました。娘がこの職業を選択したことを、うれしく思っています。	51
		介護関係以外にも、多数いる事が分かりました。	51
		社会福祉士と一口にいってもいろいろな種類があることに驚いた。多岐にわたる知識を持ち、総合的な観点からアドバイスできるなんて、素晴らしい仕事だと思った。	51
		社会福祉士とソーシャルワーカーが同じと知った	51
		社会福祉士が、これまでの福祉分野だけでなく活動を広げているということがおぼろげながら理解できた。社会福祉士を養成する大学や専門学校のwebページだけでなく、住所や電話番号が載っているのもっと便利だと思う	51
		企業として障害者雇用を推進すべく積極的な採用活動をした。その際、採用後のフォローを色々な支援団体からお越しいただき、障害者のケアにあたってくださった。私も採用担当者として関心を持ったので資格を取ろうとしたが、大学などで専門の教育を受けていないと受験資格がないことが分かり、これからでも勉強できるのかとも興味がある	51
		明日もわからない社会のなかで悩んでいる方はたくさんいる。弱い人たちを助ける仕事こそが、社会を助ける事に繋がっていくと思う。シリーズ化し、わかり易く書いて頂きたい。	52
		良い企画だと思う。今の若者にとって、働きお金を得るだけでは進歩する人間性は得られない気がする。目をさまさせる様な内容が一步踏み出せるチャンスだと思うので、そのようなものを載せると良いのではないか。	52
		高齢化の進む中、高齢者だけではなく、社会全体で誰でも福祉に関わる、関われる社会になったらもっと豊かな社会生活が誰でも送れるのではと思った	52
		社会福祉士が変わる。社会福祉士とは生き生きとした生活をする為のパートナーと記事には大きく書かれていた。福祉士の活躍の場はすでに広がり始めているとも書いてある。2年間の通信教育、スクーリング、実習を別業種で働きながら受けて今年社会福祉士の資格を得た。勉強するきっかけは5年前重症心身障害者施設併設機能障害改善型整形外科病院の病棟事務として働いていた時にさかのぼる。小規模だった為MSWがいなかった。患者さん及び家族の心配や相談窓口がなかった。必要性を感じた。せめて自身に社会福祉士主任任用ではなく福祉士の資格があればと感じた。当時働いていて専門学校での実習を経験して福祉士が本当に必要か自分の性格に合っているか、年齢的に間に合うか色々考えた。倫理綱領でもうたわれている利用者、患者さんの権利擁護に重きが置かれている事の重要性を理解しながら、モンスターペイシエントの存在にも気がついている。社会福祉士としてMSWとして相対する事ができるだろうか。それを考えた時、福祉士は守られるべきだと痛感し、その狭間で悶々としている。人のためになりたいと目指していた志が音を立てて崩れていくように感じながら読んだ次第だ	52
		家の中いる主婦にとって社会情勢や仕組みなどなかなか耳に入ってくる事は無く唯一新聞がその手段になったりする。こういう広告があれば目に飛び込んできて思わず見てしまう。これがきっかけで学習したり勉強したりするので大いに結構だ	52
		高齢化社会や子供の心のケアが何かにつけて重要視される時代に入っていると思う。広い分野で活躍する事となると思う。もう少し詳しい体制など理解できたらこの広告も生きたのではないかと思う	52
		4名の社会福祉士の方々の仕事に対する思いを知ることができました。良い仕事でお幸せです。	52
		現場で働く方の生の気持ちがあつてよかった。他に社会福祉士がどんな仕事に従事して資格を生かしているのか、具体的に職種を数多く紹介して欲しかった。	52
		ケアマネの勉強を始めて社会福祉士の仕事は幅広い知識がないと出来ないことがわかった。ケアマネになれば、社会福祉士にも挑戦したい。	53
(女性)	50代)	社会福祉士の存在は老人福祉関係の仕事をする人や子供に関する仕事の人が目指している資格だとは知っていたが、資格をとるまでが大変であるということのみが先入観であり、身近に感じていなかった。この広告で少し身近に感じたが具体的にはまだイメージがつかめない	53
		6年間自宅介護後2ヶ月入院した母が2年前に他界した。そのときの病院の対応や毎日の付き添いに不安な気持ちになり切なかった。息子が医者として社会人になった。あの時の医者、看護師をみて、患者の気持ちや家族の気持ちを考えられる医者になってもらいたいと思った。社会福祉士も人と人をつなぐ仕事。これからももっと高い位置で立てる事を祈る	53
		社会福祉士の社会的地位と認知度がこの広告によって広がることを期待します。	53

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		私はこれからの時代、こういう職業の人が大勢必要だと思います。心の病が日常化してしまった現代、どのように生きていったらよいのかアドバイスと言うより助けてくれる人達が必要だと思うからです。	53
		年とった人でもとれる(なれる)か知りたかったです。	53
		社会福祉というとお年寄りに関する事というイメージが強かったが、学校現場での子供や親達のサポートなどもある事を知りました。我家は子供2人も成人し、不登校やいじめなどもなく無事成人してくれて有難い事だと感謝しておりますが、最近はいじめや「不登校」「ひきこもり」等色々な報道を耳にします。お年寄りのサポートは勿論の事子供達に対するサポートももっともっと充実してくれればいいなあと思います。	53
		高齢化社会に向けてますます社会福祉士の必要性を考えさせられました。	53
		これからの時代に求められている職業だと思う。だが、受入れが少ないと、資格を取得しても活動できないのではとの思いもある	53
		社会福祉士の活躍の場は広いことがわかった。最近、福祉住環境コーディネーターの資格を取り、いろいろな方面に興味を持ち、目にしたり、聞いたりするにつけ、本当に自分自身にとって、よい勉強になっていると思う。ただ、スクールソーシャルワーカーの仕事については、かなり問題となる要素が多いのではと思う。学校に関して、教師、心理カウンセラー、社会福祉士と子供、保護者との円滑なかかわり、また意思統一を図れないと、子供にかえって悪い影響となる点など考慮すべき点は多いと思う。昔30年くらい前、私は教員をしていたが、それら全てのことをこなさざるを得なく、頑張っていた。そして結構うまくいっていた	53
		社会福祉士にも色々専門分野があるのですね。	53
		私には、3年前から社会にうまく適合できず、心の逃避や葛藤で体調を悪くし、青春を人並みに楽しめない120歳の子供がいる。だからこそ、このような仕事が必要不可欠だ。私も経済的に恵まれていたら学校で勉強してみたい。	53
		社会福祉士の仕事は高齢者や障害者の分野と考えていたが、これほど多くにわたっているのにびっくりした。これから必要とされる職業だと痛感した	53
		ラジオで社会福祉士の仕事は、きつく給料も少ないと言っていた。社会が認め、仕事に合うだけの給料を上げてほしいのではないかと。公に認めた形にして欲しい。	54
		10代の頃、ソーシャルワーカーに憧れていたが、20歳で結婚する事であきらめた。現在施設で老人介護をしているが身近にたくさんの資格を持った人がいます。これからもっと発展することを期待しています。	54
		私も保健施設に勤めているので、大体のことはわかるが、全く違う経理の仕事をしているので、専門的な事まではわからない。この広告を読んで、なるほど、人生のサポートをする事は難しいが、やりがいのある仕事でもあるように感じた	54
		社会福祉士と言えば、母子家庭や生活保護関係の仕事をする人というイメージをもっていたが、この特集で紹介された方だけでも、学校、医療、高齢者施設、行政と様々な分野で活躍されているということにまず驚かされた。そして、それぞれの方が、どうしたら一人一人に寄り添った活動ができるのかを常に問いながら、活動していってほしいと強く伝わってきたように思う。生活が変化するスピードが速まり、その速さに個人がついていけない時も、これからもっと増えてくるだろう。困っている時に相談できる存在として、頼りになりそうだと思う。反面、その存在が、まだまだ広く世間に認知されていないのでは、とても危惧している。今後、その存在を大いにアピールし、活動の場を広げて下さることを期待している	54
		社会福祉士が国家資格だと知りそれがソーシャルワーカーだと初めて知りました。またスクール、医療、高齢者施設、行政とあるのも初めて知りました。	54
		がんばってほしい	54
		福祉関係でパートしている。介護福祉士との交流はあり、大まかには理解している。成年後見に興味があり学習中。社会福祉士についてわかり易いいろいろなケースも紹介しており、勉強になった。	55
		私の娘も社会福祉士です。まだまだ名前が知られていないし、待遇が悪いそうです。ほんの少し手伝ってあげられれば子供達は広い世界を見ることが出来るのではないかと。喜ぶ顔が見られるのではないかと。いろいろな分野で頑張ってください。	55
		福祉関係の仕事をしているがこの記事はいまいち説得力がない感じがした。これからの仕事という感じはした	55
(女性)	50代)	大変なお仕事があるものだとつくづく思います。	55
		高齢社会となりますますます期待を担って活躍出来る職種と思います。大切な仕事と思います。	55
		今まで医療関係だけと思っていた。参考になりました。	55
		娘が社会福祉士になりたいから福祉の大学に行きたいと言っているのだが内容が良く解らず不安だった。この広告を読み少し理解できた。娘の進学も応援したいと思う。	55
		娘が現在、社会福祉士めざして学んでいる。私自身、社会福祉士の名前は知っていてもここまで幅広いとは知らなかった。学んで取得した資格を生かせる職場に出会えることを願っている。	56

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		私は訪問介護員の仕事を三年目、年内に介護福祉士の資格を取るべく猛勉強中だ。現場では日々思っても寄らない出来事が多々あり精神的、肉体的疲労が蓄積されストレスを感じる毎日だ。私自身の至らなさや利用者に対しての甘さ、認識不足など反省する事も沢山ある。利用者のありがとうの一言でまた頑張ろうと元氣と勇氣が湧いてくる	56
		社会福祉士は身近な職場です。退職後も資格としてより充実を目指したい。	56
		現在の社会福祉の介護制度において、社会福祉に携わる人たちの労働条件が年々厳しいものがありますが、特集記事(今回のように)を出して社会全体に広く浸透することが非常に大事なことだと思います。(私も現在家政婦をしていて、今後社会福祉士の資格を目指して頑張っている最中です。)	56
		社会福祉士が国家資格であり多様化した現代生活の中でこれからますます必要とされるであろう事が分かりました。高齢化が進む日本で最も必要とされている職業の1つであると思います。	56
		今、新聞がおもしろい。昔は、有名な肩書のある人たちばかりの記事だったが、今は人間そのものにメスを入れ、どんな人の記事も、これぞと載るようになり、時間の許す限り、すべて読みたい。読み、楽しみたい。そんな感じである。風の音、心の動き、人間探求はおもしろい。正直にそのままの姿をうつし出す時の人間らしさ、老いゆく姿、成長していく姿、何でも話題に語り合ったら、果てしないのかも知れない。社会福祉、介護、ケアマネ、たくさんの記事を載せて宣伝していただきたい。たくさんのことを知って、人とふれあい、自然とふれあっていきたい。便利さの裏の人間舞台を見せて欲しい	56
		今後このような特集を設けて、また実際に、こういう時は、どの様にしたかの経験を書いていただいたら、もっと関心が大きくなると思う	56
		私の長男は、大学で介護士と社会福祉士の国家試験を取得するために、現在勉強している。その影響だと思うが、いろんなことを話してくれるので、私も少しは詳しくなった。現在4年生だが、1年生の頃から親子でボランティア活動をしている。障害者の方の施設、グループホーム、老人保健センターなど。いろんな施設で活動させて頂いて、本人は、その仕事に就きたいという考えを強く決めた。私は、そんな長男を嬉しく思う。これから、私を含めてだが、お年寄りが増えてくる。介護士、社会福祉士の方の活躍を楽しみにしている。まだまだ多くの方に知ってほしい	56
		現在も特養で調理員として仕事をしている。市から民に移行したホームなので、さまざまな違いを感じる。社会福祉士と介護福祉士の本当に必要なケアを望んでいる。	57
		社会福祉士の仕事が法改正により、活躍の場が広がる事を歓迎する。	57
		福祉分野の幅の広さと年々変化する福祉の実態に矛盾を感じていた。今回この広告をみて人権を守りながら一人一人の人生を尊重し共感する事の大事さを感じた	57
		これから社会高齢化がすすみ、ますます社会福祉士の仕事が大切だと思った	57
		私も大学で社会福祉を専攻し、都崎博子さんのようにまだ資格をとれなかった時代です。現在99歳と94歳のお年寄りと住み、毎日、介護・福祉を感じる事が多いです。	57
		私の母が長い間入院生活を送る事によって、ケアをしてくださる方のお力添えで随分助けていただきました。昔の先輩たちは自分の中に閉じ込めすぎない忍耐力でこなしてきた。今は人に話す事によって力を借りながら生活を送ります。どの年齢のときでもその時点で心を閉じ込めず、アドバイスをいただいていく事が本当に大切だと思います。社会福祉士と保健室の先生で子どもを守ってあげれば、低年齢の子供の事件も防げる事は間違いないと思います。	57
		義母の介護はあまりにも長く何もかも家で世話をしましたのでソーシャルワーカーがいらっしゃることは知っていましたが、相談する機会がありませんでした。実母では色々お世話になりました。高齢化が進む中、大変なお仕事だと感心しております。	57
		ソーシャルワーカー、イコール社会福祉士だとこの記事を読んで分かりました。その仕事の分野も広く、スクール・医療・高齢者施設・行政と若い方達が頑張ってる事を知り、これからの時代ますます活躍の場を広げて頂きたいと思いました。今3才の初孫がいますが、進路の相談を受ける日がいつか訪れましたらこんな仕事がある事を教えてあげたいと思います。お体大切に皆さん頑張って下さいね。	57
		自分も不登校になった事があるが、学校は「病院に行け」「精神科に行け」だけだった。自身でも解決したいと思ったがまず話せる場がなかった。家庭訪問もなく。人間みんな自分で問題を解決したいと思ってるのでサポートの手は大切だ。生活福祉士がいるというのをみんなが認知して広まったら良い。	57
女性	50代)	高齢化が進んでいく中で、より多くの若者がこの道を歩んでくれることを望む	57
		社会福祉士が世の中に増えていって欲しいと思う。今の時代、福祉のお世話になる人は増えていると思うので、よりニーズに応えられるよう、頑張ってもらいたい。国は、そういう人達に十分な予算をとり、待遇も良くして欲しいものである。この広告は、詳しく知らなかった社会福祉士についてわかって、よかった	57
		これからの活躍が期待できる社会福祉士だが具体的な仕事のイメージが記事ではつきにくかった	57

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		今まで名前だけは聞いたことがあるし、家で高齢の父の面倒を見るのが難しくなり、色々な施設を探すと、社会福祉士の方にお世話になった。しかし学校に関するスクールソーシャルワーカーや医療ソーシャルワーカーなど、知らないところでの活躍が期待されていると知った。色々問題が出てきたときに専門の知識を持って相談にのってもらえる人が常駐していることは、とてもありがたいことだと思う	57
		病院に勤めており、社会福祉士の活躍の場はわかっている。限られた時間で理解し、共感して最適な生き方を考え直してみたいと思う。	58
		8年前、両親を見送った。その時、介護で疲れている家族の相談に乗ってくれる専門知識のある人が身近にいたらどんなに心強いただろうと感じた。社会福祉士がもっと身近なプロフェッショナルとして活躍してもらいたい。	58
		社会変化に伴う社会福祉士の役割の重要性の拡大を、同じ職場で働きながら実感した。特に医療現場では、在院日数の短縮化から調整に多忙な日々を過ごすソーシャルワーカーの方のストレスも図り知れないものがあるように、今職場を離れ地域で生活している一住民として、また看護師としての立場として、社会に貢献できる事は何かを考える時、ソーシャルワーカーの方々の協力の大切さを痛感している。少しでも住み良い町作りを考える機会を得る事が出来た	58
		家族で話し合った。次男がフリーターのため長男が福祉の仕事に勤めてきた。次男は合っているのでは。父母の介護をしていたときに積極的に手伝ってくれ嫌な顔せず協力。広告をみて福祉にもいろいろ仕事の内容が理解できた。少しでもわかってよかった	58
		人のために働いて役に立ちたいと思う人にはピッタリの仕事だと思った。若い人がこの仕事に就いて活躍するようにと思う	58
		介護福祉士の養成校の閉鎖などのニュースの中で社会福祉士の役割の前進を期待しています。	58
		これから高齢化が進み、ますます社会福祉士の仕事が活発になると思います。国民が皆、平穏な生活をするために社会福祉士の貢献に期待します。	58
		現在介護福祉士として働いていますが現場で社会福祉士の必要性を感じている昨今、社会福祉士の資格取得を目指そうかと考えました。	58
		現役学生の学ぶ生の声が反映されるとわかりやすいと思う	58
		私の友人の子が、実の父親から首を絞められ、DVにあっけま、小学校でスクールソーシャルワーカーの方との話し合いや精神科の病院紹介などお世話になっている。一昔前だったら相談は、担任の先生だったが、今の時代は安心だと思う。ぜひ沢山増やして欲しい。専門家は必要である	58
		従来の介護福祉士と社会福祉士の違いが漠然として理解できない。子供は介護福祉士の資格を持っているが、職場で省人化のため、多くの高齢者を見なくてはならず、人間関係がギクシャクして、転職した。給料も安く、とても生活できなかった。定年近くになったら、また、福祉関係の仕事に戻ると言っている。これからますます高齢化社会になり、福祉士の重要性が認識されると思う(給料面も含めて)	58
		現場の様子や仕事の内容を、実際に働く人の声として知ることができ、これから進路を考えている人達に役立つと思う。放送大学の情報などもあるとより良かったと思う	58
		両親が、デイサービス、ショートステイを利用しているが、老人施設にソーシャルワーカーがいてくれたらと思う	58
		一つの職業について紹介されるコーナーとしてよい これからも続けて欲しい	58
		社会福祉士は知っていたが医療以外は知らなかった	58
		これからの社会福祉士の大切な仕事を分かって欲しい	58
		これから活躍していただかないとならない職種かなと思います。	58
		弟が病気で25年前入院し、半年後亡くなった。その時様々な悩みについて病院で聞いてもらったことがある。金銭的な事だけでなく、仕事・家族・地域での役割なども、家族でもなく、医師、看護師でもなく、病院付きのソーシャルワーカーと話していたのを思い出す。この職業の人にはまず徹底して相手の言葉を聞き、まず受け止めてほしいと思う	58
		最終的にどの方法を選ぶかは本人という言葉に、暖かく重いものを感じた。本人の気持ちを何よりくんであげられるような仕組みになって欲しいと切に思う。	59
		これからは日本の福祉がどの様になっていくのか不安です。現実現場に働いておられる方や本当に介護が必要な方、私はそういう方々に届いていないのではと思うことがあります。美しい言葉や理想を並べても介護の現場は少し異なる様に思えてなりません。	59
(女性	50代)	社会福祉士の名前は知っていましたが、仕事の内容までは知りませんでした。実際の現場での声を読み、納得し、これから活躍の幅が広がる仕事だと思いました。紙面を切り取り、友人、娘達にも読んで欲しいと思っています。	59
		甥が今ソーシャルワーカーになる為に老人介護の病院で頑張っています。大変なようですが、優しい性格でぴったりと思っています。この広告の一面は切り取ってもう少しゆっくり読みたいと思いました。	59
		特集をまたしてください。	59

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		最も必要な職種なのに世間に認められない時期が長かったです。それは生産性がなく代替出来ると考える事業主が多かったのでしょう。ただ大学を出て資格を得ただけでは一線に立っていただきたくないと思います。多くの経験を公私共に積んでいただく必要があると感じています。ネットワークをより多く持つ人に相談したい。	59
		介護の仕事をしているので、関心があった。詳しい仕事内容が良く解った。多方面にソーシャルワーカーとして活躍されている事がわかった。広告特集は、毎回、興味深く読んでいます。これからも続けて欲しい	59
		社会福祉士の方々の活躍の場が広がるにつれて、お仕事も大変だろうと思うが、その場、その場に対応できる仕事をしていただきたいと思います。「人を思いやり、支え、助ける仕事を」と書かれていたように	59
		ひつぎのフタを閉じて、人間としての尊厳を守りたいと切望している。自分の最期は納得のいくものでありたい。だからこそ、もっともっとあたり前の社会福祉士であって欲しい	59
		認知度が低いのでPRが大切だと思う。	59
		老人介護施設で介護職をしております。今回のような記事や報道が、我々介護の現場に携わるものにとって原点に戻るよい機会と思います。多くの方々に仕事の内容を理解していただきたいと思います。	59
		これからの日本には社会福祉士は絶対必要。多くの人が資格を取って活躍してくれることを望みたいです	59
女性	60歳以上	社会福祉士の名前は知っていたが、どこまで私達とかわりがあるか理解出来なかった。大まかな内容はわかったが、もう少しわかり易くどんな所で働いているのか等書いて欲しかった。	60
		社会福祉士と介護福祉士の違いがわかった。ソーシャルワーカーでも医療介護だけでなくことを知った。実習、実演を通してより専門職としての社会的地位をUPして下さい。	60
		今後社会福祉士の資格が色々な分野で必要とされていると聞く。試験が難しくなかなか合格できないとも聞く。この特集を見て、やりがいのある資格だという事がよくわかった	60
		ソーシャルワーカーと言う言い方をすると世間一般ではわかりにくいと思う。社会福祉士と言う立派な日本語があるのだからマスコミ等も勿論協会本部もこの日本語を使って欲しい	60
		見やすくわかりやすい。車椅子の男性若過ぎ	60
		これからの社会。社会福祉士の仕事は重要な仕事と実感している	60
		私自身親として約10年前に息子や娘に薦めた仕事で福祉の大学も薦めたのですが。	60
		社会福祉士を充分理解できました。PSWについても知りたいと思います。あまり人に知られていない、しかし大変やりがいのある仕事を紹介して下さるのは有難いです。私は57歳で国立H・Pを退職しましたが、看護師をしている時からMSWになりたいと思っていました。佛教大学に3回生編入できると知り、退職時決心をしたのですが、諸事情のため叶いませんでした。	60
		パートの保育士をしています。保育課程で少し学んだと記憶しています。今の社会では高齢化、教育で必要な職種になってきています。もっともっと若い人達が社会福祉士の仕事に取り組んでほしいと望みます。	60
		興味のある方にはありがたい広告です。私もあと2年ほどしたら勉強します。	60
		社会福祉士の仕事の大切さを知りました。	60
		社会福祉士の仕事は、今後より必要性が高まると思う	60
		現在、特養で働いて、3か月が経った。ぜひ将来、社会福祉士になりたいと思う。母が認知症になったので(7年前に他界)、介護士さんやいろんな方にお世話になったので、私もがんばりたい	60
		私たちの知らない大変なお仕事がいっぱいあるのですね。	60
		広告でなく、記事として社会福祉士について、広めていただきたい。これからの時代必要な、有資格者だと思います。若い方には大変な仕事ですが、希望する人が増えるよう、広めてください。	60
		知らないことがたくさんあった。	60
		「社会福祉士」の事がさまざまな分野に広がりを見せているとのこと。人を思いやり支える福祉のプロとしての社会福祉士の活躍を期待します。	60
(女性)	60歳以上)	介護ヘルパーとして訪問介護とグループホームで働いている。大学進学の際に福祉大学も考えたが文学部を選んだ。現在2級ヘルパーなので社会福祉士の名称も耳にはいることが多く、国家資格を取っておくとどんなに良いか良く分かる。福祉関係の仕事は、「人を思いやり、支え、助けること」と書いてあるとおりだ。認知症の方でも、人としての尊厳を傷つけることなく接することだ。人生経験のある先輩方から学ぶことは多々ある。様々な分野でのお話、参考になった。	60
		亡くなった母の事でお世話になり感謝している。	61
		2級のホームヘルパーの勉強をしている。国家試験である社会福祉士や介護福祉士の先生方に講義をしていただいている。おかげでちょっぴり身近に感じている。出来れば勉強を続けて挑戦しようと思う	61
		社会福祉士と言っても一体何をする人なのか分からないのが現状。あらためてこの様な広告をだされた事を高く評価したいと思う	61

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		福祉関係の仕事は大切で大変なのに、賃金が安いのがどうかと思う	61
		社会福祉士ってどんな仕事なんだろうと思っていた人にとって、とてもわかりやすい内容であった。高齢者が多くなり、様々な分野で援助を必要とする人が増加している。そんな中に、いろいろな形で援助してくれる人があれば、安心して生活できる気がする。定年を迎える年齢になったが、社会福祉士を目指して、4月から大学の 部で社会福祉を学んでいる	61
		今からは社会福祉士の仕事は増えると思う。私も、孫たちに、こんな素晴らしい仕事があることを伝えたいと思う	61
		大変参考になりました	61
		社会福祉士に世話にならないことも大事	61
		スクール、医療、高齢者施設、行政、4つのソーシャルワーカーがありそれぞれ活躍されている事がわかった。主婦でも通信で学べるところがあるか	62
		一般社会では、未だどんな事をする職業がよく知られていないようだ。高齢者の福祉施設では、社会福祉士にも介護をさせたりして、仕事が確立していない(明確でない)ようだ。また、待遇面も介護者と同じ条件のため、辞めていく。学校、医療、福祉施設で、大学卒はそれなりの条件でないと、せっかく福祉士になっても、バーンアウトで辞めていく現実がある(生活を支援する良い仕事なのに)	62
		社会福祉士は、介護士より知名度が低い。これからの重要性を特集を組んでほしい	62
		大変ご苦労なお仕事ですね	62
		詳しくよく判った	62
		ソーシャルワーカーに相談すること自体、知らない人がいる。施設のよく見える所に案内表示を詳しく出してくれれば良いと思う。	63
		「福祉は人を支援していく事を通して自分を知り、人として大切なことを学べる仕事。この仕事を選択し学び続けることは私の大切な財産である」という言葉に感銘を受けた。今後ともますますのご努力とご進展を祈念いたします。	63
		夫が最期を迎えるまで福祉関係の方にはお世話になった。介護する家族に寄り添って下さる気持ちが一番大事なことと思うが、広く深く要求される知識を勉強できる余裕も必要かと思う。	63
		現在子供が社会福祉士をめざして大学に通っている。アンケートにあるように仕事の内容まで知っていると思っていたが、理解できてとても良かった	63
		社会とソーシャルワーカーが同じという事に気が付かなかった。給料も他の責任ある仕事と同様高額になると思う	63
		38才の娘が3人の子育てしながら社会福祉士を目指して、働きながら頑張っています。私も老体に鞭を打ちながら協力(微力ながら)しています。この様な仕事に娘が就ける事が今一番の願いです。	63
		社会福祉士について、名前だけは知っているのではなく、もっと知っていると思うが、仕事内容まで知っているとは言えない。関連する職種との相違点がわからない。私は保健師であるが、私が学んだ頃には、社会福祉士はなく、医療ソーシャルワーカーが保健師と連携、分担しながら活動していた。今日の広告を見て、保健師の活動内容と重なる分もあり、どのような相違点があるのか、理解できない点もあった。広告の際に関連する職種(保健師、介護福祉士など)との相違点、協力関係等も含めて紹介されると、より仕事が理解できるのではと思った	63
		世界一の長寿国、日本。高齢化社会を前に、それらに対応する人々の需要も変わってきた。社会福祉士の需要が高まっている。特に高齢者に対応する社会福祉士の専門家が必要とされている。精神的に豊かな生活を送るために社会福祉士の需要は高まっていく。社会福祉士の方もそれらを通じて自分自身の豊かさを築いていくことが出来ると思う	63
		母は施設でお世話になっており、そこで見る社会福祉士さんの一生懸命働いている姿は感動の連続。特集を読んで改めて大変な仕事だと思った。高齢化、少子化社会ではなくてはならない職業なので頑張りたい。	64
		世の中には色々な仕事があるとつくづく思った	64
(女性)	60歳以上)	現在30歳になる息子はダウン症です。現在企業に勤めていますが、今後相談することが多くなってくると思います。社会福祉士を目指す皆さんの活躍を期待しています。	64
		社会福祉士のことはとても関心がありました。我が家の二男が介護福祉を目指し介護の仕事をしておりましたが、お給料の安さに結婚も出来ない状態で転職しました。これからの日本にとって本当に必要な仕事ですね。	64
		とても分かりやすい内容。職務内容が良く分かった。特にソーシャルワーカーさんが今後とても必要になってくると思い、心強く思いました。	64
		社会福祉士は幅がある職業でいいと思います。	64
		今後の高齢化社会を考えると、切実な思いがする。	64
		ホームヘルパーとして高齢者の方と接しているが、生活援助をしながら日々感じる事が、社会福祉士の仕事と通じることがあるなと思った	64
		高齢化する社会に向けて活躍する社会福祉士がいることで心がホッとする	64
		いろいろ分かって面白かった	65

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		これからも社会福祉士について定期的でも広告活動をしていきたい	65
		身内が入院したので身近な存在である。これからの重要性が分かった。	65
		63才で福祉士の資格を取り、現在ヘルパーとして在宅介護に関っています。掲載されている方同様、とても生きがいを感じながら仕事をしています。若い方に働いて頂きたい職業だと思います。	65
		社会福祉士という仕事がこのように専門化されていることは知りませんでした。高齢化が進み私の周囲でも直接お世話になっている「高齢者施設」の方々について理解ができました。さらに理解を深めたいと思う方は多いのではないのでしょうか。続編を期待しています。	65
		各施設等のソーシャルワーカーの説得力のある表現により、社会福祉士の役割が理解できた。	66
		色々な分野に分かれていることは知らなかった。私も勉強したいと思う。本とか通信とかで勉強できないのか。地域で困っている人がいるので助けてあげたい。	66
		人の生活や心に関する問題を考えていく社会福祉士は、専門的知識が豊富だけではできない職種と思う。常に相手を思う心、自身の感受性を磨く努力や社会への働きかけをする能力が要ると思う。今こそ活躍が期待される。厳しさも強調した広告もして欲しい。	66
		社会福祉士の仕事は幅広く色々な分野にそれぞれ大事な役目を担った職場だと思う。人対人の仕事なので大変だと思うがこれからの若い人達がじっくりと時間をかけて育てていく事を期待する	66
		高校時代、福祉方面も選択肢に入っていたので大変興味深く記事を読ませもらった。もう少し若ければ挑戦してみたいとすら思っている	66
		最近広告特集、じっくり読んで知識を得、考える広告が多くなっていて、新聞大好き人間は嬉しい事だ。これから社会福祉士のお世話になる。多くの若い人が社会福祉士になれるようしっかり勉強し、やさしさのあるソーシャルワーカーになって欲しいと思う	66
		医療ソーシャルワーカーは病院ごとに十分な人数がいるのだろうか。病後退院してからとても困っている家族の様子を見聞きしている。市役所等地域の中でソーシャルワーカーに相談する事が出来たら良いと思う。それぞれのソーシャルワーカーが多数活躍して欲しいと思う	66
		社会福祉士が変わるとい言葉に目が止まりました。私達の地域でも昨年福祉委員という組織的な名前が出来たのです。一部落で1人です。(今現在仕事内容が分からないので何もやっておられません)。田舎では高齢者も目立って多くなり子供達も減少する中、若い方は都会へ出て行く。地域包括支援センターもあります相談・サービスの対応がなかなか出来ないようです。私も民生委員をしていますが福祉の問題はなかなか複雑です。今後は社会福祉士及び介護福祉士を多く養成していただいて、より専門的な知識を私達地域にも広げて下さい。それぞれの他機関と共有する事により子供から高齢者まで事故のない明るい社会を目指します。	66
		仕事の内容は理解できるが、人数的に各部署で足りているのか。障害を持った方と接している方、高齢者の方々や接している方の精神面にも心し、これからお世話になであろう者として、行き届いた福祉を望んでいる	67
		各ワーカーの説明意見が読みやすく表現されているので福祉の及び範囲の広がりに関わる人の立場、姿勢が解った。時代とは申せ広告されてる養成校の電話番号が住所くらいは併記された方が親切ではないか。	67
		現在私はヘルパー2級の資格を取得しホームヘルパーとして10年目になります。研修会に参加したりして色々な分野の事を勉強しながらヘルパーとして働かせて頂いております。高齢化社会になり福祉の充実には常々重く受けとめております。ソーシャルワーカーの仕事も色々な分野がありそれぞれにご活躍している事に感銘を受けました。人を思いやり支え、助ける事、さらに高齢化が進む中で社会福祉士もホームヘルパーも同じではないか、その必要性も高まるものではないかと思ひ日々精進したいと思います。	67
(女性	60歳以上)	知人が、身近な人間がかかわっている社会福祉士関係だが、この広告特集は、私のように知りたくても知り得なかった情報が与えられ、社会福祉士の活躍の場の多いこと、大変さを感じた。プロフェッショナルとして働く方々を応援し、少しでも共に仕事の大変さを担っていけたらと、この情報を多くの人達に読んでいただきたい。福祉の在り方に関心を持って下さる方が増すことを願う。ソーシャルワーカーの働きを知り、大変勉強になった	67
		社会福祉士の方のご苦労のことがわかった	67
		福祉は高齢者と子供達にとって切り離せない仕事。日本社会の福祉を考え、アピールする為にもシリーズで伝えて欲しい。福祉に力を入れる社会を望んでいる。	68
		高齢化の時代、益々ニーズは増えると思う。老介護者の負担は増大するばかり。このような時こそ自分の殻に入らず、ソーシャルワーカーの知恵と助けを借りる為には、知名度が必要と思う。どのような場にあっても、賢く利用し生き生きと生活する術を私達も身に付けていきたい。更なる知名度と実績を深める制度であって欲しい。	68

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		社会福祉士の活躍できる分野が少しわかった。社会福祉士の仕事は人を思いやり、支え、助ける事です(中村秀一)とあるがまるで仏様のような言葉だ。職業として現実に可能なのだろうか。それぞれ立派に仕事をしている人が載っているが、スクールソーシャルワーカーの仕事内容が一番理解できた。高齢になるに従いこれらの人々に世話になる機会があると思う。資格者の人格も大切だが働いている職場のあり方によって理想の姿から離れていく事も考えられる	68
		教育現場にももっと多くの専門家が入り込む必要があると思う。	68
		とても良い広告だと思った。私自身、夫のことでソーシャルワーカーにお世話になり、心静かに自宅の看護もでき、病院も努力して下さって、心から感謝している。地域によって、情報の理解度が違うと思われる	68
		各分野で社会福祉士が新しい方向を目指して頑張っている事がわかりたのもしく思った。社会的にもっと認知してもらえるようになると良い	69
		私共のような高齢者にとってソーシャルワーカーの方が居られるという事は本当に有難いことです。こういう人達をたくさん社会に送り出してくださる大学にもお礼を申し上げたいです。	69
		立派な仕事なので孫が希望している進路です。進んでいけるよう応援したい。	69
		社会福祉士の資格には、いつも関心を持っていて、どんな仕事をどのようにと知りたかったので、この広告特集で詳しく教えていただいた。尊い、素晴らしい働きであることを確認し、年が若かったら、挑戦して活躍したいと残念に思う。理解と協力はしたい	69
		とても理解できた。現在の職場に若くてこの資格を持っている人がいるが上司の資格等で活かさない現状を見ている。今回の広告面を読んでこのように素晴らしい現場を目指して人生をいきいきとしたものにして欲しいと感じ、ちょっとアドバイスをしたくなった。後20年若かったら思い悔しい	70
		大学卒業時、友人の一人がこれから社会福祉士の勉強をしようと言った言葉が耳に残っている。その立場になった時、紙面のように各職域のソーシャルワーカーの方々がスタンバイしてくれる心強さに感謝している。もっともっと必要とする人々に情報が行き届くよう願う。福祉養成校が全国に広がる事を希望する	70
		私も若ければ福祉士を目指し人のため、世のために尽くしたいのですが、もう年齢的に駄目ですので望むばかりです。今は自分の事は自分で出来、家事、孫のお守もしていますが、明日の命は分かりません。老後の者にも育児以上にいい方向に願う者です。	70
		社会福祉士の仕事や役割等、本や図書館で調べるより身近に理解できました。	70
		福祉に関する情報は多いにこした事はないので度々掲載して下さい。	71
		社会福祉士の必要性。同養成校の充実については判ったがその国家資格を得た後の社会福祉士の待遇についての明記も望む。社会福祉士さんに活躍していただく為には重要な事だ	72
		私はNPO法人、高齢者の人権を守る市民の会の理事長をしております。これから社会福祉士の職が重要なことを承知しておりますが、介護福祉士自身の声が聞かれないのがとても残念です。活動に期待します。	72
		現在主人が認知症のため家庭介護をしております。今は福祉が充実していて主人も日帰りデイサービスを受けています。このような介護福祉についてはケアマネジャーの下で日々を送っています。	72
		理解していたつもりだったが改めて良く解った。	72
		社会福祉士という言葉聞いた人は多いと思うが、具体的内容はよくわからない。こうした点が紙面の話を通してみると実によく理解できる。人権を守り、生き生きとした生活をするための担い手である。こうした役割の重要性は大きいといえる	72
		子どもにしても大人にしてもこれから社会福祉士に相談し問題を解決する糸口にしたいものです。	73
		立派でいい勉強になった。とてもいい記事で本当に立派な事で私ももっと勉強します。	73
		広告特集を読み高齢者のみならず、スクールソーシャルワーカーとして活躍して下さる方もいる事、仕事の重責を全うしてられる社会福祉士という職の大切さに、心から頭が下がる思いです。	73
		学校の紹介記事がありました。受講の最低条件が判れば良かった。	73
(女性)	60歳以上)	なかなか難しい事柄である為 色々と考えなくてはいけないと思う。	73
		理解できなかった。	75
		資格を持っている	75
		時代のニーズと共に多様で高度な専門性と度量の広い人間性を必要とする社会福祉士の実情が記事により、しっかりと読みとれ感慨にふけています。それだけに社会のお役に立ちたいと社会福祉士を目指す若者の夢を壊さないように福祉の仕事に魅力と誇りの持てる事業体の育成が望まれてなりません。	77
		社会福祉士とは聞いた事があったが内容は解らなかつたが新聞を見てあらかた解った。大変な仕事だと思う。	77
		福祉政策が十分に生かされていない今の現状の中で直接現場で働く人や社会福祉士の人それぞれの専門分野の中で理想を持って活躍できるようにするためにも、この様な広告はぜひ必要であり、介護を必要とする時にわかるように尚重要だと思えます。	78

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		医療や教育、高齢者や障害者の力強い味方、支援者であるソーシャルワーカーの仕事に大変興味と関心が湧きました。今後益々求められる分野だと思います。キャリアアップや人材育成に力を注いでほしいです。私も勉強したくなりました。	79
		1987年に誕生したことを知り、20年もなるのに、余りにも知らなすぎたと我ながら驚いている	79
		社会福祉士の活動現場は今回取り上げられた以外にも多いと思う。詳しい説明はなくとも、どういう場所でもんな働きをしているのかもう少し多くの活動状況を広報してもらえると、一般の人にも利用しやすいのではないかと、またこれから学びたいという若い人たちにも視野が広がり、よいのではないかと。折角一面使っているから、もう少し情報が欲しい	79
		今私は自分が「高齢者」と呼ばれても仕方がないと思うようになりました。少し前までは「なんと悲しい」と思っていたのに。覚えたつもりの事が思い出せない、分かったつもりの事が分かっていない。そんな事の繰り返しで悲しくて情けなくて死にたいほどです。私自身お年寄りをいたわって来たと思いますけれど、今この暗い心の深淵には思い至りませんでした。申し訳ないです。	80
		私も昨年支援2になった。平成17年春の退院時には、看護1だった。とても親切にしてもらい、感謝している。今は支援もなしで、ソロソロを心掛け、こけぬ様がんばっている	80
		私が住んでいる小田原市にある国際医療福祉大学にも社会福祉士コースがある。ソーシャルワーカーの養成コースがある事を朝日新聞(5月26日付)の広告特集を見て知った	82
		つい前年までボランティアをしていましたが、国家試験があるとのこと。私は社会福祉士協議会の一員として、福祉委員をさせていただいていましたが、何をしたらよいか分からず、総会に年に一度か二度出席させていただいたようなものでした。但し健康推進で老人のお弁当作りや幼児の集いにお世話したりと社会のためのボランティアをしたりしていました。	83
		介護保険でも来て下さる方が少ない様に聞いています。私も老いて家政婦さんに月水金と手伝って貰って助かっていますが、介護保険でなく個人で頼んでいて高くつくので、各種の社会福祉士さんの努力が実る事と信じています。	87
		勉強になった	94
女性	年齢不明	共感して理解に努めます。ソーシャルワーカーの活躍を望む。	
		社会福祉士が変わるを読んだ。高齢化社会に向かって避けて通れない事がわかった。近いうちに社会福祉士のお世話になる	
		今まで知らなかったが、これから高齢化の社会にとって必要な素晴らしい仕事だと思った。将来の夢の選択肢がひとつ増えた	
		介護士と同じに理解していたので、国家試験で取得できる資格と初めて知った。介護士のサラリーが低く介護保険制度の在り様がとやかくいわれているが、社会福祉士のまず大きな責務であって欲しいと思う	
		社会福祉士取得に向けて勉強をしようか悩んでいる。近年、社会福祉士の資格が必要になってきてはいるが実際の現場ではまだまだ低く見られているように感じる。今後もPRに力を入れてもらいたい	
		社会福祉士が変わるのはもちろん社会福祉士が高齢化。日本を変えて欲しい	
		資格取得の方法として大学への進学以外の方法はあるのか	
		とてもわかりやすかった。今後も広告特集を続けて欲しい	
		病院だけと言うイメージがあったが、とても広い分野に広がってきている事を知った。今世の中が大変な時代なので、これからますます多数の所で社会福祉士が必要になると思う。大変な仕事だが頑張ってもらいたい	
		とても分かりやすく関心がわく広告だ。何か困っている時に専門的な知識をアドバイスしてもらえて心の負担が軽くなると言うのはとてもやりがいがあり、どこでも必要とされる仕事だと思った。いろいろな分野でこれからも増えてゆく職業になると思う。とてもためになった	
(女性)	年齢不明	社会福祉士について知ってもなかなかの中までは知りにくい。この特集を見てとても良く分かったし、安心につながってとても助かります。一生懸命健康に気をつけていても心のフォローも大事です。心から頼りになります。	
		夫60歳は7年前に自宅で脳梗塞にて倒れ自宅療養中です。リハビリ、本人の意思と周りの方々の補助で自力歩行、自動車運転、努力の証であります。多くの方々のご協力ご指導に感謝の日々を過ごしています。	
		私は医療技術者として病院勤務をしていたため、社会福祉士の方、医療ソーシャルワーカー、高齢者施設、福祉施設、行政で働く相談員の方と一緒に仕事をする事も多くありました。そんな中で感じたことは、同じ「相談員」でも知識や仕事に関する考え方(対応の仕方など)の差がかなりあるという事です。私自身が持っている資格(職業)は技術の技力の個人差があっても基本的な知識、考え方の方向は同じです。私が今まで関わってきた「相談員」の方が皆さん社会福祉士の資格を持っていたかは分かりませんが、今後教育等の段階で考え方の方向の差が縮まるような「変化」を期待します。	
		福祉に関して、どしどし記事として載せてもらいたい。	
		社会福祉の活躍の場が広がることはいいことです。	

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		<p>社会福祉という資格を持った方々の仕事が少し分かったような気がします。福祉というとヘルパーやケアマネージャーという名前をよく聞きますが、ソーシャルワーカーという仕事はなかなか聞きなれないものでした。今回病院や役所・福祉施設などで仕事をされていることを知り、家族、本人の立場になって考える方達が私達の身近なところにみえるんだと嬉しく思いました。ニュースや新聞で中学生、高校生の間でのネットいじめ等をよく目にしますが、誰にも相談できない子達と親や先生、地域の環境をうまく結びつけて解決していくのは大変だと思います。そういった中で、社会福祉士の皆さんにどんどん頑張ってもらいたいと思いました。私達もこれから地域の一員として助け合いのメンバーとして生きていきたいと思いました。</p> <p>今の学校等は変わってきている。</p> <p>私達は社会福祉士の方との接触は無いが、お世話にならない方が良いのかも。</p> <p>社会福祉士の方達がいきいきと活動できる社会を作り出すのは、私達国民次第。</p> <p>社会福祉も大変ですね。</p> <p>地方公務員をしていた娘が結婚の為、他県へ住むことに。それで退職し、今は社会福祉士の資格をとろうと勉強しています。病院、学校以外にもいるんな所でニーズがあり、福祉を支える素晴らしい仕事だと感じました。良い記事を有難うございました。</p> <p>息子が東京の包括支援センターで社会福祉士として仕事をしています。徐々に一般に知られてきていますが、具体的にはまだまだだと思います。介護福祉士と同じように思われたいもしますので、もっとどんな勉強をしてきて具体的にどんな方法で相談されているのか、窓口はどこにあるのか等々、必要かと思われま。</p> <p>箇条書きに分かりやすく書く。これからは老人が増加するので活字は大きく書いてください。</p> <p>私の娘は3年間専門学校で勉強し、資格を取る為の知識を学びました。しかし、その後半年間？の実務経験がないと資格が取れないそうで老人施設で働きましたが、アトピー性皮膚炎の為手がボロボロとなりやむなく途中で資格取得を諦めました。後に4年間の大学だとすぐ受験出来る事を知りとても悔しがっていました。</p> <p>社会福祉は医療の面に限らず、世の中全体の分野で幅広く調整し社会を住み易く期待を多いにこれからの可能性を秘めた輝かしい職業だと思います。</p> <p>身近に社会福祉士の方がおられないので接する事がなく、今、具体的に現場でどのような働きをされているのか知りたいと思いました。社会福祉士の方々のご自身の人間性の成長を願います。</p> <p>紙面(広告)で拝読させて頂いた社会福祉士の方々は優秀で自らの強い思い(福祉への)があるからこそ資格を生かした仕事で日々活躍されているのだと思いました。私の息子は大学(社会学部社会福祉学科)を卒業と同時に社会福祉士の国家試験を受け資格を得ました。しかし、地域性もあるのかもかもしれませんが社会福祉協議会等資格を生かした職に就くのはなかなか門戸が狭く、現在はメディカル関連の人材派遣のコーディネイト(営業)をしています。現実の社会においてはまだまだ「社会福祉士」の認知度や必要性は低いのではないのでしょうか。</p> <p>共同作業所で、夏期販売販売の仕事をしたり、パンを作ったり、ケーキを作ったりして、毎日楽しく仕事している</p> <p>名前だけではどんな職業が分からないことが多い中、こういったわかりやすい説明により、これから進路を決める方たちには大変有意義だと思う。これからも？と思うことに、どんどんスポットを当て、周知して欲しい</p> <p>私もなりたと思った</p> <p>福祉住環境コーディネーターの資格を持つ者である。この勉強のきっかけは、夫が死亡後、一人住まいの私が、全く動けず(神経の痛みで)、正常の生活ができるようになるまで40日かかった。地域包括支援センターができる前で、支援を求める仲間がいるに違いないと思った。行政の対応のまずさ、お粗末さに当時は、悲しい思いもした。関係者は頑張ってほしい</p>	
(女性)	年齢不明)	<p>活躍の場、内容については、わかりやすかったと思う。社会福祉士についての資料(国家資格等)を取り寄せたことがあったが、短大出の私には困難だった。通信制などもっと資格を取りやすい仕組みを望む</p> <p>私も社会福祉関係の仕事をしている。今は、介護福祉士と調理師の資格を持っている。これから介護支援専門士、認知症ケア専門士を取りたいと思い、日々、勉強などがんばっている</p> <p>あらゆる職場で、その時々に関与するには、本当に大変なご努力が要と思う。まず分野が、以前より広がったことは大歓迎。私たちの生き生きとした生活をサポートして欲しい</p> <p>一口に社会福祉士と言っても、様々な分野があることを知った。以前、父が倒れ、入院した時、要介護5になってしまった父の介護を、難病にかかっている母に迫られたことがあった。病院がとにかく父を退院させたがっていて、その時、間に立ってくれたのがソーシャルワーカーの方だった。様々な施設をピックアップしてくださり、入所手続きもできるところまでやってくださり、大変お世話になった。大変難しい仕事で、人間性も仕事に大きく関わってくると思う。自分の子どもには、こういう仕事についてもらいたいと思った</p>	
性別不明	50代	<p>有益な情報で役立つと思います。何かあったら社会福祉士さんにお世話になるうと思います。もっと多くの人に知られて活躍してほしいと思う。</p>	56

性別	年代	広告特集への意見・感想	年齢
		母の入院でソーシャルワーカーに色々相談にのってもらい助かりました。この記事で仕事の内容が良く分かりました。	57
性別不明	年齢不明	息子が現在、社会福祉士を目指して介護施設で働いている。人の役に立つ資格なので地位向上の為に頑張りたいと思っている。この特集は他の人にも教え、社会福祉士という仕事を知ってもらうには良いと思う。	
		社会福祉士の仕事がわかり易く理解できた。社会福祉に関する特集を載せて欲しい。	
		社会福祉士が変わるといふ大きな見出しが良いと思う。4氏のソーシャルワーカーの話もわかり易くて良いと思う。紙面構成として、コンパクトにまとめると更に良くなると思う。	
		受験資格は持っているが、資格取得後の仕事の重要がどの位のものなのかがわからず、受験にふみきれない。もっと、色々な資格を扱って頂けたら嬉しいと思う。	
		もう少し色合いを考えても良いのでは。白と黒だけでは真面目な感じは良いがさみすぎる	
		年金とシルバー人材センターにて清掃活動している。最近病院で介護士さんが一生懸命働いていて、この福祉についても少し勉強するつもりでこの広告を読みました。都崎さんは自分を知り人として大切なことを学べる仕事と言っています。病人は十人十色で皆考えが違って、思いも違うのに大変だと思います。	
		社会福祉協議会の役員をやっておりましたが、具体的に活躍している方の意見が表示されており、大変参考になりました。	
		「社会福祉士」という言葉は息子が大学の選択をする際知りました。今高齢者の施設で働いていますが、現実には厳しく社会福祉士の資格は生かしていません。現場で介護の仕事をしています。一生勉強だと言っております。	

社養協発第 2008-24 号  
平成 20 年 6 月 3 日

会 員 各 位

社団法人日本社会福祉士養成校協会  
会 長 白 澤 政 和  
< 公印省略 >

社会福祉士の社会的認知に向けた啓発広告（第 2 弾）掲載にかかる  
学校有料広告枠掲載校の募集について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では社会福祉士及び介護福祉士法改正及び福祉人材確保指針の改正に伴い、社会福祉士の任用・活用の促進、待遇改善、職域拡大に向けた広報活動に取り組んでいるところですが、おかげさまで持ちまして、5 月 26 日（一部 27 日）の朝日新聞朝刊（全国版）に別紙のとおり啓発広告を掲載することができました。ご協力いただきました会員におかれましては深く感謝申し上げます。

先に開催されました本協会通常総会でこの掲載紙を配布しご報告申し上げましたところ、第 2 弾広告の掲載について多数のご要望がありましたことから、第 2 弾啓発広告掲載にかかる学校有料広告枠掲載校を募集することといたしました。

つきましては、下記により学校有料広告掲載校を募集いたしますので、本事業の趣旨にご賛同いただける会員校におかれましては、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 . 有料広告枠募集件数 : 3 0 件 ( 先着順 : 第 1 弾広告で掲載いただいた学校も応募できます。 )

2 . 有料広告掲載料 : 3 1 5 , 0 0 0 円 ( 税込 : 1 校 1 枠のみ )

3 . 有料広告枠サイズ : W 63.667mm × H 17.0mm

全面の 5 分の 1 を 30 分割したサイズです ( 別紙参照 )

啓発広告

有料広告枠

4 . 有料広告掲載枠順 : 別紙の広告枠番号順に先着順にて掲載

- 5 . 有料広告枠掲載内容 : 学校名、学部学科等名、学校URL
- 6 . 広告掲載時期 : 2008年7月中旬~8月上旬(予定)  
掲載日及び啓発広告内容については、本協会広報委員会にご一任ください。
- 7 . 応募方法 : 別紙申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。
- 8 . 掲載誌 : 朝日新聞朝刊全国版(発行部数約800万部:予定)

- 注1 . 有料広告の募集は募集数(30件)に達した段階で締め切らせていただき、選に漏れた学校にはその旨通知申し上げます。また、応募が多数の場合は、第3弾以降の新聞広告企画を検討いたします。
- 注2 . 応募数が募集件数に満たない場合は掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承の上、お申し込みください。

《お問い合わせ》

社団法人日本社会福祉士養成校協会  
事務局(担当:小森 敦)  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷2-12 まつもとビル3階  
電話:03-5369-2737 FAX:03-5369-2572  
E-mail:office@jascsw.jp

↑↑↑↑↑ FAX ↑↑↑↑  
日本社会福祉士養成校協会事務局あて  
03-5369-2572

社団法人日本社会福祉士養成校協会  
社会福祉士の社会的認知に向けた啓発広告（第2弾）掲載にかかる  
**学校有料広告枠掲載申込書**

社団法人日本社会福祉士養成校協会  
会長 白澤 政和 様

下記のとおり申し込みます。

申 込 日	平成 20 年 月 日	
学 校 名		
広告掲載料	315,000円	
学校所在地	〒	
連絡担当者	所属・役職	
	氏名	
連 絡 先	電 話：	
	F A X：	
	E-mail：	
請 求 書 送 付 先	〒	
	担当者所属・氏名	
請求書宛名		

《《 学校有料広告枠掲載内容 》》

学校名	
学部学科等名 (必要な場合のみ)	
ホームページ URL (原則「http://」は省略します)	<b>WWW.</b>

学校名及び学部学科名は社会福祉士養成にかかるものに限ります。

朝日新聞社広告局企画

## 社会福祉士に関する啓発広告

啓発広告の内容につきましては、本協会広報委員会にご一任いただきます。

掲載申込書の先着順で、下記番号枠を  
昇順で割り当てます。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

有料広告枠(30校)

金曜特集 全国・制作 朝日新聞社広告部

# 社会福祉士が、変わる

## 社会福祉士とは、生き生きとした生活をするためのパートナー

国家資格である社会福祉士(ソーシャルワーカー)の仕事は、従来の児童・高齢者・障害者分野などの福祉だけでなく、教育、医療、司法、行政などの分野へ広がりをみせています。こうした変化は、高齢化や格差といった社会の変化、そして希薄化が進む家族機能の変化などを背景に、人々の人権を守りながら、生き生きとした生活をするための担い手である社会福祉士に期待が高まっている結果であると考えられます。

昨年末には「社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律」が成立し、その変化はより具体的なものになってきました。この法改正は、実践能力の向上をめざしたカリキュラムの改革に加え、職域の拡大が柱になっています。社会福祉士の養成校で組織された社団法人日本社会福祉士養成校協会は「我々がめざすのは、あらゆる現場で通用する社会福祉士の育成です。しかし、日進月歩で進化する社会福祉士はじめとする現場では、

学校卒業後も継続した知識や技術の習得が欠かせません。そのため、社会福祉士で組織された専門職団体である社団法人日本社会福祉士会も協力し、社会福祉士の継続的な成長をバックアップしていきます。教育と現場の連携を進めることも強調しています。「人のために役に立ちたいと思っているならば、社会福祉士はそれを実現できる道のひとつ。自分の夢を達成するための資格」という社会福祉士の姿を紹介します。



### 社会福祉士の活躍の場はすでに広がり始めています

社会福祉士 中村秀一さん

中村秀一さんは、社会福祉士として約30年、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、司法福祉、行政福祉など幅広い分野で活躍されています。現在は、社会福祉士会理事として、社会福祉士の活動の場を広げようとしています。

「社会福祉士は、人々の生活を支えるために必要不可欠な存在です。これからも、社会福祉士の活躍の場を広げ、人々の生活を支えたいと思います。」

### スクールソーシャルワーカー 子どもと学校と家庭のよりよい関係づくりをサポート

スクールソーシャルワーカーは、子どもと学校と家庭のよりよい関係づくりをサポートします。学校生活で悩んでいる子どもや、子育てに悩んでいる保護者、学校と家庭の連携を促進するための役割を担っています。

「子どもと学校と家庭のよりよい関係づくりをサポートするために、スクールソーシャルワーカーは、学校生活で悩んでいる子どもや、子育てに悩んでいる保護者、学校と家庭の連携を促進するための役割を担っています。」

### 大田府教育委員会 スクールソーシャルワーカー 金澤ますみさん

金澤ますみさんは、大田府教育委員会に所属するスクールソーシャルワーカーです。子どもと学校と家庭のよりよい関係づくりをサポートしています。

「子どもと学校と家庭のよりよい関係づくりをサポートするために、スクールソーシャルワーカーは、学校生活で悩んでいる子どもや、子育てに悩んでいる保護者、学校と家庭の連携を促進するための役割を担っています。」

### 医療ソーシャルワーカー 限られた時間で、理解し、共感して最適な生き方を提案

医療ソーシャルワーカーは、限られた時間で、理解し、共感して最適な生き方を提案します。医療現場で悩んでいる患者や、医療現場の連携を促進するための役割を担っています。

「医療現場で悩んでいる患者や、医療現場の連携を促進するために、医療ソーシャルワーカーは、限られた時間で、理解し、共感して最適な生き方を提案します。」

### 高齢者福祉ソーシャルワーカー ご本人の人生を尊重し、その人らしい暮らしを共に考える

高齢者福祉ソーシャルワーカーは、ご本人の人生を尊重し、その人らしい暮らしを共に考えます。高齢者の生活を支えるために必要不可欠な存在です。

「高齢者の生活を支えるために必要不可欠な存在です。ご本人の人生を尊重し、その人らしい暮らしを共に考えます。」

### 社会福祉法人 東京都福祉会 都崎博子さん

都崎博子さんは、東京都福祉会に所属する社会福祉士です。高齢者の生活を支えるために必要不可欠な存在です。

「高齢者の生活を支えるために必要不可欠な存在です。ご本人の人生を尊重し、その人らしい暮らしを共に考えます。」

### アンケート&プレゼント

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に、3,000円分の図書カードをプレゼントいたします(広告主提供)。

アンケートの回答と郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号を明記し、郵便はがき、FAX、インターネットのいずれかで応募してください。

Q1 あなたは社会福祉士について知っていましたか?  
 ①仕事内容まで知っている ②名称だけは知っている  
 ③聞いたことがある ④全く知らない

Q2 この広告特集をきっかけに、社会福祉士について知ることができましたか?  
 ①仕事内容まで理解できた ②大まか内容が理解できた  
 ③大まか理解できた ④全く理解できなかった

Q3 この広告特集に関する意見・感想をこの欄にお書きください。

応募先  
 [はがき] 〒104-8605 東京都中央区新富3-303番  
 朝日新聞社東京本社広告課「社会福祉士が変わる」係  
 [FAX] 03-5672-9834  
 [インターネット] http://www.asahi.com/e-post/  
 [インターネット] http://www.asahi.com/e-post/  
 応募の切り 6月3日(火) 抽選開始  
 本紙の発行日(5月26日)を以てさせていただきます。  
 本紙の発行日(5月26日)を以てさせていただきます。  
 本紙の発行日(5月26日)を以てさせていただきます。

### 行政ソーシャルワーカー 選択肢は提案するが、問題を解決するのは相談したご本人

行政ソーシャルワーカーは、選択肢は提案するが、問題を解決するのは相談したご本人です。行政現場で悩んでいる市民や、行政現場の連携を促進するための役割を担っています。

「行政現場で悩んでいる市民や、行政現場の連携を促進するために、行政ソーシャルワーカーは、選択肢は提案するが、問題を解決するのは相談したご本人です。」

### 介護福祉士 篠田浩さん

篠田浩さんは、介護福祉士として約20年、高齢者の生活を支えるために必要不可欠な存在です。

「高齢者の生活を支えるために必要不可欠な存在です。ご本人の人生を尊重し、その人らしい暮らしを共に考えます。」

社団法人日本社会福祉士養成校協会 ▶ www.jascsw.jp

文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 www.u-bunkyo.ac.jp	北星学園大学 社会福祉学部 www.hokusei.ac.jp	関西福祉科学大学 www.fukui-kagk-u.ac.jp	杏林大学 www.kyorin-u.ac.jp	国際医療福祉大学 www.ihfw.ac.jp	ルーテル学院大学 総合人間学部 社会福祉学科 www.luther.ac.jp
北翔大学 www.hokusho-u.ac.jp	熊本学園大学 www.kumagaku.ac.jp	広島国際大学 www.hirokoku-u.ac.jp	桃山学院大学 社会福祉学部 社会福祉学科 www.androw.ac.jp	同朋大学 www.doho.ac.jp	日本社会事業大学 www.jscw.ac.jp
国立大学法人 島根大学 法文学部 社会文化学科 福祉社会コース www.shimane-u.ac.jp	西九州大学 www.nisiky-u.ac.jp	静岡福祉大学 福祉心理学科/児童福祉学科/健康福祉学科 www.ssw.ac.jp	東京福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科/保育児童学科 www.tokyo-fukushi.ac.jp	聖徳大学 www.seitoku.jp/univ/	同志社大学 社会福祉学部 社会福祉学科 www.doshisha.ac.jp
関西学院大学 人間福祉学部 www.kwansei.ac.jp	専門学校 日本福祉学院 社会福祉士通信科 www.tsushin-toshimainen.jp	帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科 社会福祉コース www.thu.ac.jp	日本メディカル福祉専門学校 通学科/通信科 www.nmf.ac.jp	東海大学 健康科学部 社会福祉学科 www.u-tohoku.ac.jp	大正大学 アーバン福祉学科(設置構想中) www.tais.ac.jp
佛教大学 www.bukkyo-u.ac.jp	新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 www.niuhw.ac.jp	東洋大学 www.toyo.ac.jp	駒澤大学 社会学科 社会福祉士専攻 www.komazawa-u.ac.jp	淑徳大学 www.shukutoku.ac.jp	日本福祉大学 www.n-fukushi.ac.jp